

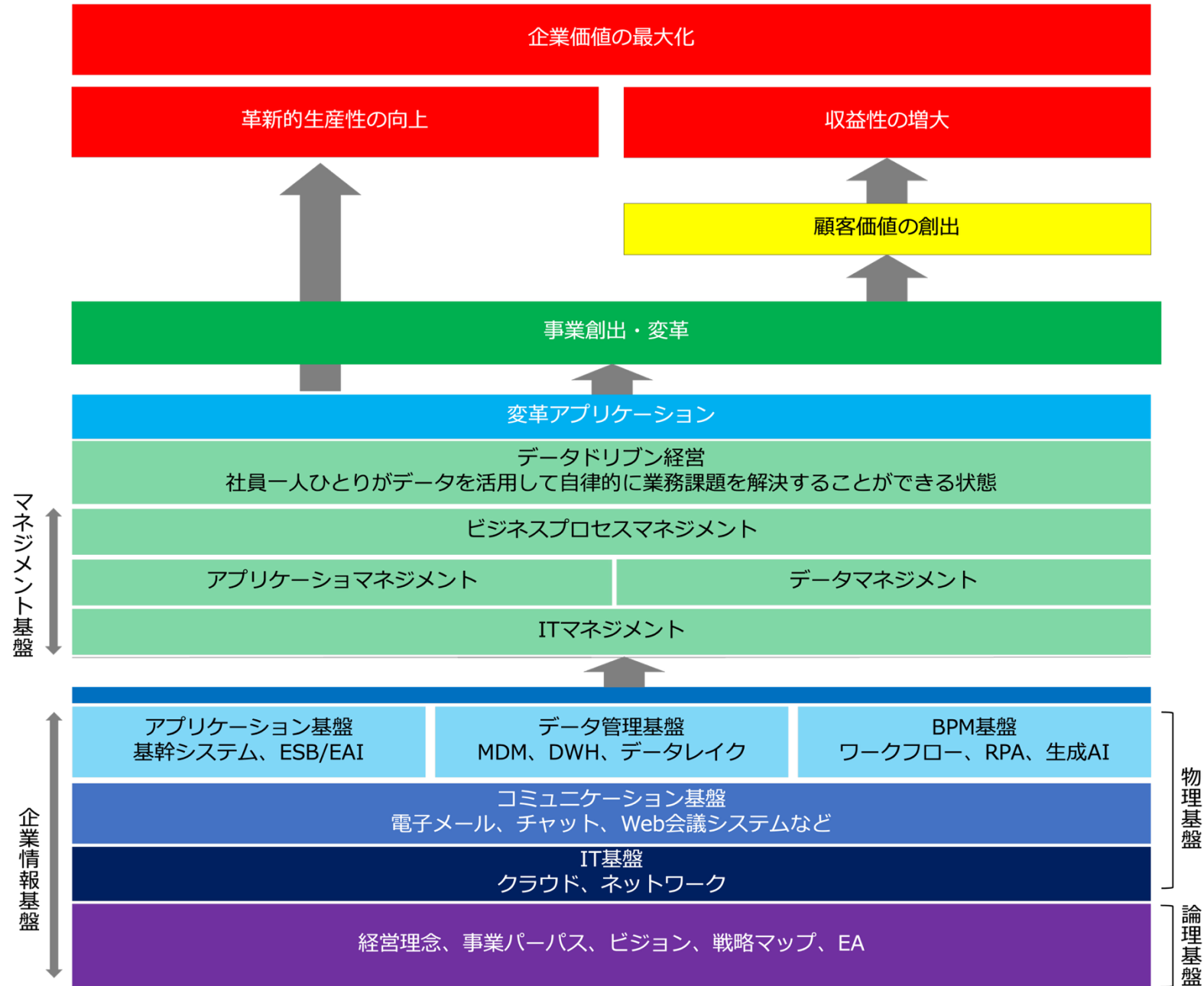
デザイン思考経営

1. デザイン思考の概要
2. なぜデザイン思考経営なのか
3. デザイン思考経営のアーキテクチャ
4. デザイン思考経営のアプローチ
5. デザイン思考経営とDX

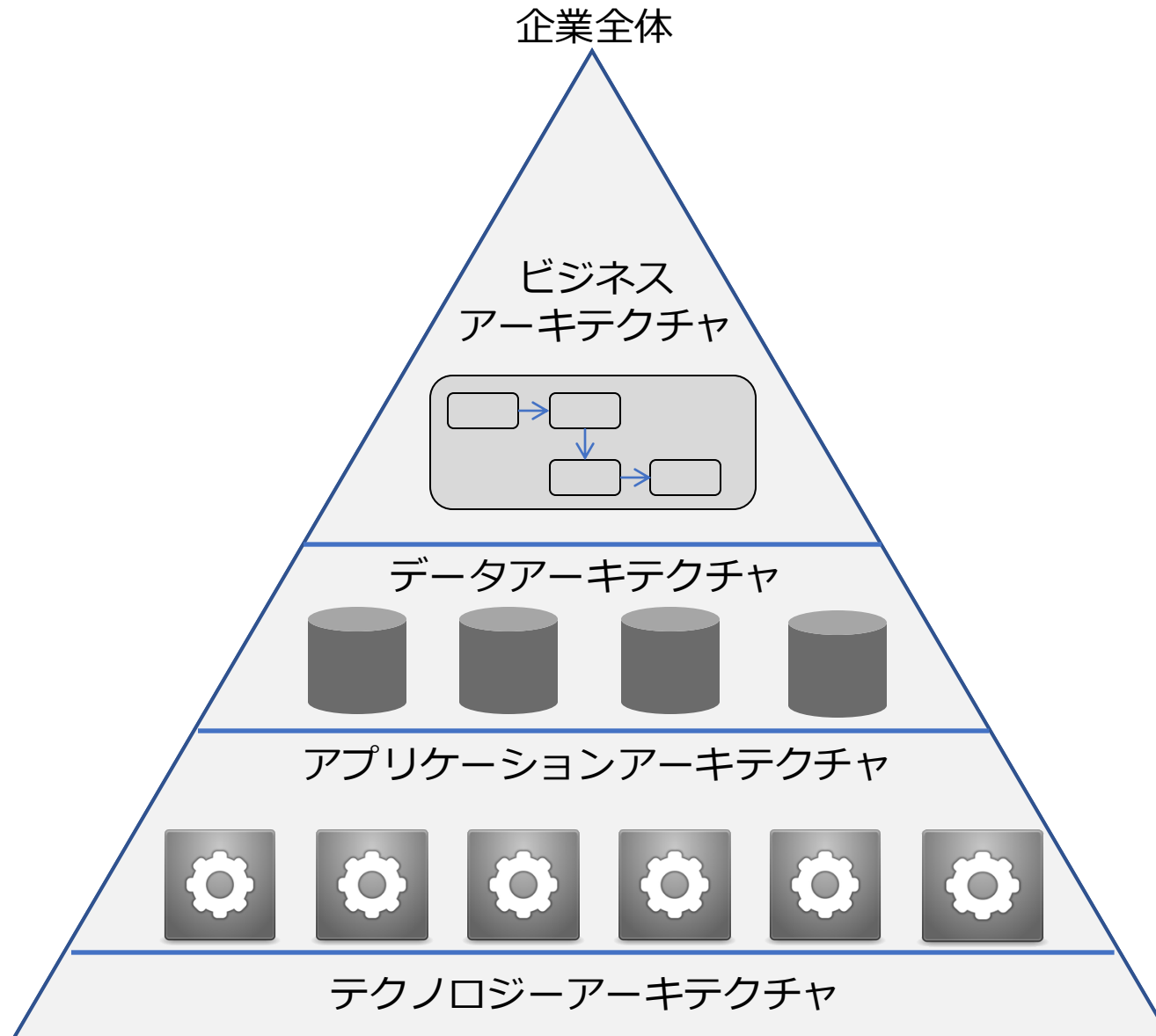
デザイン思考経営

1. デザイン思考の概要
2. なぜデザイン思考経営なのか
3. デザイン思考経営のアーキテクチャ
4. デザイン思考経営のアプローチ
5. デザイン思考経営とDX

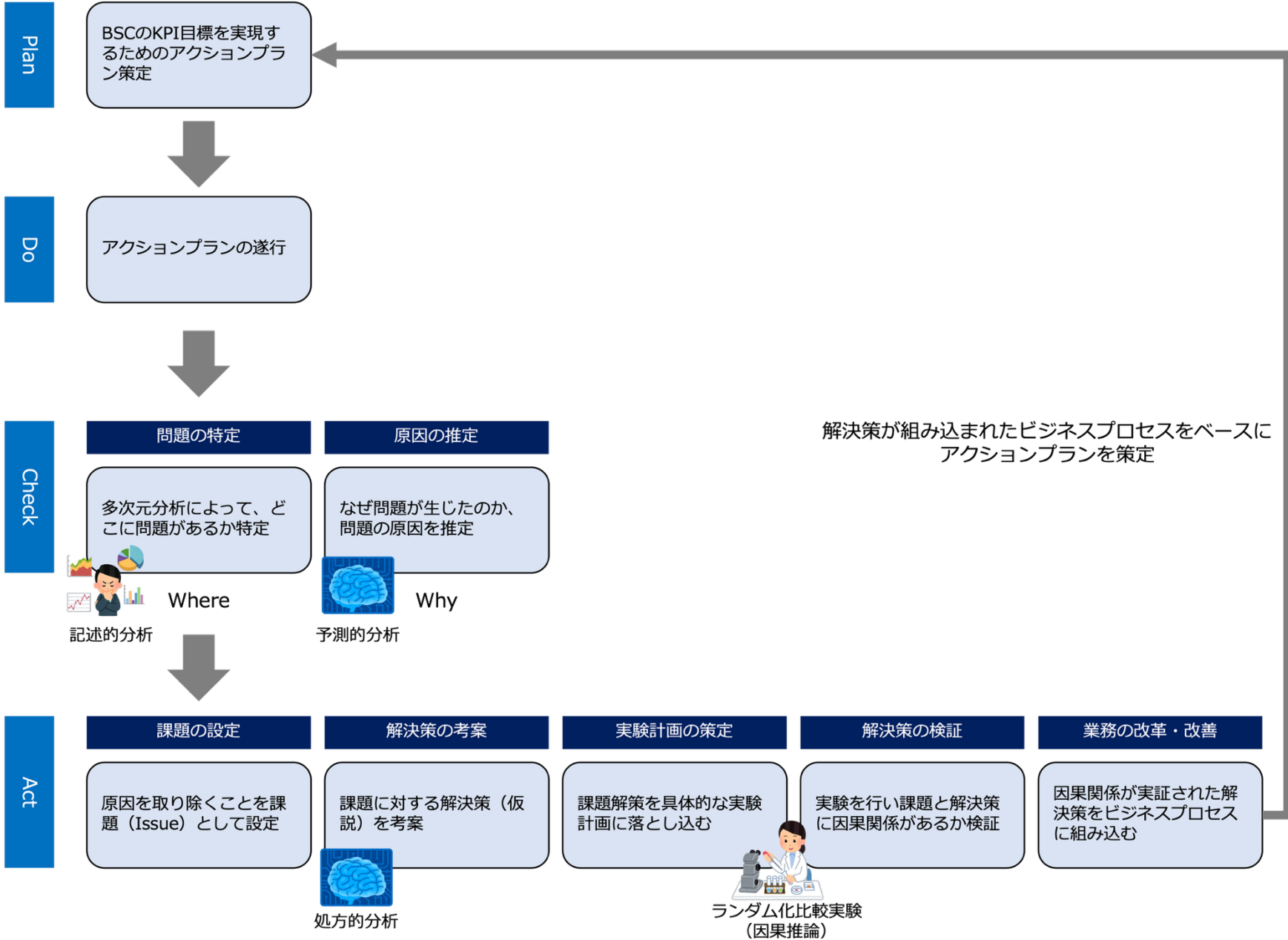
DX戦略マップ



エンタープライズアーキテクチャ (企業の業務とシステムの基本的な仕組)



データドリブン経営



DXとは

企業を
データやデジタル技術を活用することで
環境の変化に応じて迅速に事業を変革・創出し
顧客を中心としたステークホルダーに価値を提供し続ける
体質にすること

DXとは

持続可能な体質（構造×機能）をつくること（体質変換）

学習し進化する組織



事業

事業

事業

事業

肥やす
(Nourishment)

仮説検証の仕組

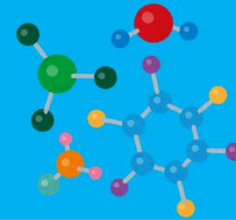


探索と深化を繰り返すことによる
体系的なナレッジ（肥やし）の蓄積

成功力

耕す
(Cultivation)

変化に強い構造



業務とシステムを
環境の変化に柔軟に適應できる
変化に強い構造にする
モジュール化（分解）×レイア化（分類）
プロセス統合（統合）

適応力

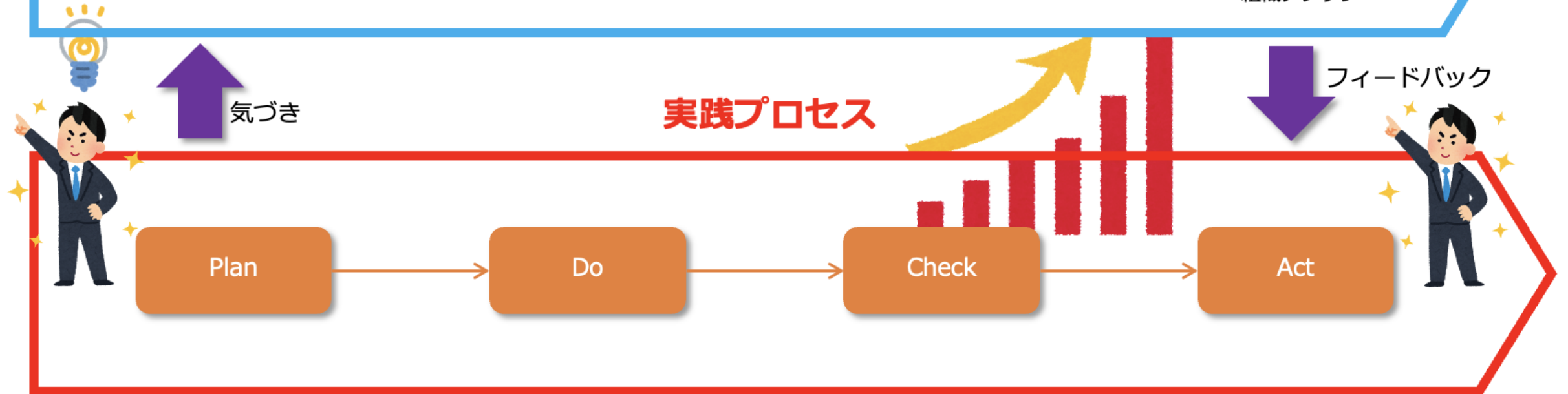
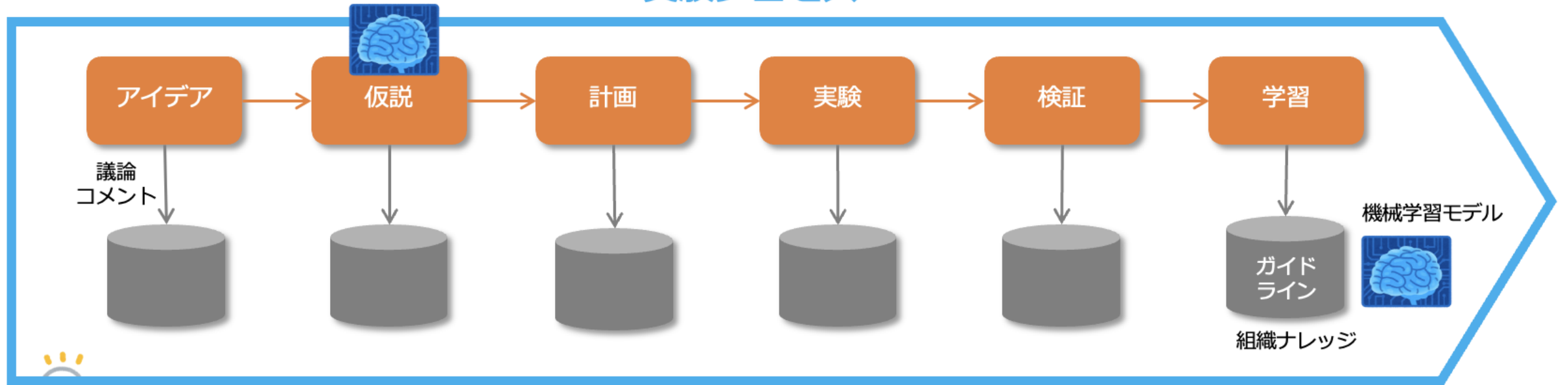
価値創造の企業文化



貢献と成長による喜び
ナレッジの実践
透明で公平な評価
パーパスベース経営

継続力

実験プロセス



DXとは

DXは単なるIT導入ではなく、
人間中心の価値創造型経営を実現するための基盤整備であり、
デザイン思考経営ができる組織になるための変革プロセス

DXプロセス

デジタルトランスフォーメーション

設計

戦略

構築

運用

企業情報基盤（論理基盤）の設計

企業情報基盤（物理基盤）の構築

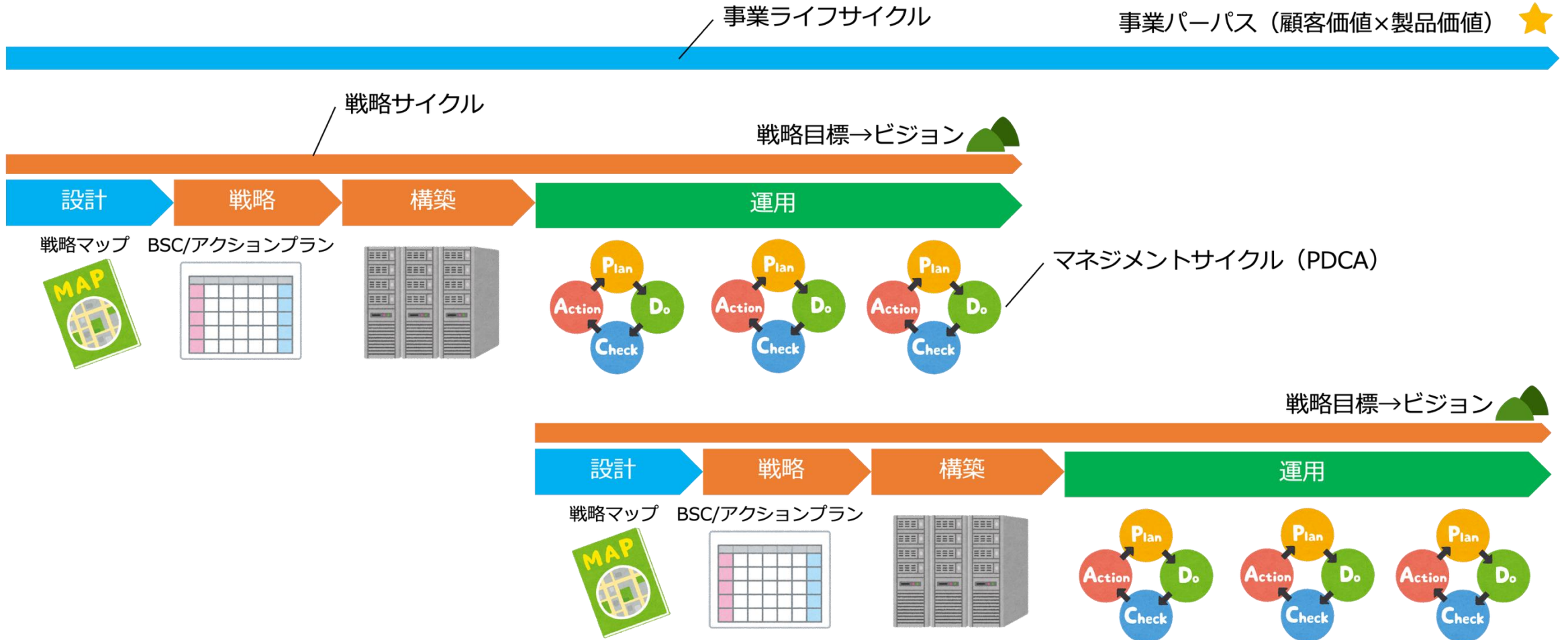
マネジメント
基盤の構築

企業文化の醸成

データドリブン
経営の実現

変革アプリを活用した
事業の創出・変革

デザイン思考経営の事業ライフサイクル



DX戦略マップ

企業価値の最大化

革新的生産性の向上

収益性の増大

顧客価値の創出

事業創出・変革

変革アプリケーション

データドリブン経営

社員一人ひとりがデータを活用して自律的に業務課題を解決することができる状態

ビジネスプロセスマネジメント

アプリケーションマネジメント

データマネジメント

ITマネジメント

アプリケーション基盤
マイクロサービス、ESB/EAI

データ管理基盤
MDM、DWH、データレイク

BPM基盤
ワークフロー、RPA、生成AI

コミュニケーション基盤
電子メール、チャット、Web会議システムなど

IT基盤
クラウド、ネットワーク

経営理念、事業パーパス、ビジョン、戦略マップ、EA

5.企業を持続的に飛躍させる

4.データドリブン経営を実現する

3.マネジメント基盤を整える

2.物理基盤を築く

1.論理基盤を創る

マネジメント基盤

企業情報基盤

物理基盤

論理基盤

DXの具体的なアプローチ

- DX成熟度レベルを定義する
- DXプロセス×領域ごとのDX成熟度レベルで具体的なアクションプランを立案する

DX成熟度レベル

企業がDXを進め継続的に価値を生み出す体質になっているかを評価するための枠組み。

DX成熟度レベル

- **レベル 1: 場当たりの的な状態 (Initial)**
まずやってみる
- **レベル 2: 繰り返し可能な状態 (Repeatable)**
最低 2 回繰り返す
- **レベル 3: 定義された状態 (Defined)**
プロセスとプロダクトを標準化する
- **レベル 4: 管理された状態 (Managed)**
プロセスとプロダクトを管理する
- **レベル 5: 最適化された状態 (Optimized)**
プロセスとプロダクトを継続的に改善する

DX成熟度レベル

- **企業情報基盤の成熟度**

企業情報基盤を構成する各種モデルや製品の成熟度で、マネジメント基盤の成熟度の前提になります。

- **マネジメントプロセスの成熟度**

企業のマネジメント基盤を構成する各種マネジメントのプロセスの成熟度で、結果的にデータドリブン経営の成熟度につながります。



継続的に価値を生み出す体質

DX成熟度レベル

- **レベル 1: 場当たりの的な状態 (Initial)**

まずやってみる

企業情報基盤、および、マネジメントはアドホックであり、企業情報基盤、および、マネジメントプロセスの手順は正式に文書化されていません。

企業情報基盤、および、マネジメントの品質が低く、それらはプロジェクトに依存します。

DX成熟度レベル

- **レベル 2: 繰り返し可能な状態 (Repeatable)**

最低 2 回繰り返す

基本的な企業情報基盤、および、マネジメントプロセスが確立され、繰り返し可能な手順があります。

しかし、それらは依然としてプロジェクトごとに異なり、標準化が進んでいません。

DX成熟度レベル

- **レベル 3: 定義された状態 (Defined)**

- プロセスとプロダクトを標準化する**

- 企業情報基盤、および、マネジメントプロセスが組織全体で定義され、標準化されています。

- しかし、それらの定義が一貫しておらず、完全な実施には至っていません。

DX成熟度レベル

- **レベル 4: 管理された状態 (Managed)**

プロセスとプロダクトを管理する

企業情報基盤、および、マネジメントプロセスが実行、監視され、測定されており、それらの効率化が図られています。

継続的な改善が必要ですが、それらの監視と測定は定着しています。

DX成熟度レベル

- **レベル 5: 最適化された状態 (Optimized)**

- プロセスとプロダクトを継続的に改善する**

- 企業情報基盤、および、マネジメントプロセスが最適化され、継続的に改善されています。

- 最新の技術やベストプラクティスが取り入れられています。
イノベーションと最適化が組織の文化として根付いています。

DXの具体的なアプローチ

- DX成熟度レベルを定義する
- DXプロセス×領域ごとのDX成熟度レベルで具体的なアクションプランを立案する

DXの具体的なアプローチ

- DX成熟度レベルを定義する
- DXプロセス×領域ごとのDX成熟度レベルで具体的なアクションプランを立案する

DX成熟度レベルを定義する

領域	成熟度レベル1 場当たり的な状態 (Initial) まずやってみる	成熟度レベル2 繰り返し可能な状態 (Repeatable) 最低1回繰り返す	成熟度レベル3 定義された状態 (Defined) プロセスとプロダクトを標準化する	成熟度レベル4 管理された状態 (Managed) プロセスとプロダクトを管理する	成熟度レベル5 最適化された状態 (Optimized) プロセスとプロダクトを継続的に改善する
エンタープライズアーキテクチャ					
ビジネスアーキテクチャ	組織、資産、場所を設計した経験がある	最低2つの組織、資産、場所が設計されている	全社の組織、資産、場所が設計されている	組織、資産、場所が事業戦略に照応され、組織的に管理されている	全社の組織、資産、場所と、その事業戦略が継続的に改善されている
	特定の活動が設計されている	最低2つの活動が設計されている	全社の活動が設計されている	全社の活動が事業戦略に照応され、組織的に管理されている	全社の活動と、その事業戦略が継続的に改善されている
	全体マスターデータモデルを設計した経験がある	最低1つの、全体マスターデータモデルが設計されている	すべての全体マスターデータモデルが設計されている	全体マスターデータモデルが組織的に管理されている	全体マスターデータモデルが継続的に改善されている
	全体トランザクションデータモデルを設計した経験がある	最低1つの領域の全体トランザクションデータモデルが設計されている	すべての領域の全体トランザクションデータモデルが設計されている	全体トランザクションデータモデルが組織的に管理されている	全体トランザクションデータモデルが継続的に改善されている
	特定の分析データの全体分析データモデルが設計されている	最低1つの分析データの全体データモデルが設計されている	全社の分析データの全体データモデルが設計されている	全体分析データモデルが組織的に管理されている	全体分析データモデルが継続的に改善されている
	全体マスターデータフローを設計した経験がある	最低1つの領域の全体マスターデータフローが設計されている	すべての領域の全体マスターデータフローが設計されている	全体マスターデータフローが組織的に管理されている	全体マスターデータフローが継続的に改善されている
データアーキテクチャ	全体トランザクションデータフローを設計した経験がある	最低1つの領域の全体トランザクションデータフローが設計されている	すべての領域の全体トランザクションデータフローが設計されている	全体トランザクションデータフローが組織的に管理されている	全体トランザクションデータフローが継続的に改善されている
	特定の分析データの全体データフローが設計されている	最低1つの分析データの全体データフローが設計されている	全社の分析データの全体データフローが設計されている	全社の分析データの全体分析データフローが組織的に管理されている	全社の分析データの全体分析データフローが継続的に改善されている
	特定の業務の業務データフローが設計されている	最低1つの業務の業務データフローが設計されている	全社の業務の業務データフローが設計されている	全社の業務データフローとビジネスメタデータが組織的に管理されている	全社の業務データフローとビジネスメタデータが継続的に改善されている
	特定の業務の業務データモデルが設計されている	最低1つの業務の業務データモデルが設計されている	全社の業務の業務データモデルが設計されビジネスメタデータが定義されている	全社の業務データモデルとビジネスメタデータが組織的に管理されている	全社の業務データモデルとビジネスメタデータが継続的に改善されている
	特定のアプリケーションのアプリケーションアーキテクチャが設計されている	最低1つのアプリケーションのアプリケーションアーキテクチャが設計されている	全社のアプリケーションのアプリケーションアーキテクチャが設計されている	全社のアプリケーションのアプリケーションアーキテクチャが組織的に管理されている	全社のアプリケーションのアプリケーションアーキテクチャが継続的に改善されている
	データロジアーキテクチャを設計した経験がある	最低1つのデータロジアーキテクチャが設計されている	全社のデータロジアーキテクチャが設計されている	全社のデータロジアーキテクチャが組織的に管理されている	全社のデータロジアーキテクチャが継続的に改善されている
企業情報管理基盤					
IT基盤	何層かのIT基盤がある	最低3部門のIT基盤がある	クラウドかオンプレミスのIT基盤がある	クラウドかオンプレミスのIT基盤が組織的に管理されている	クラウドかオンプレミスのIT基盤が継続的に改善されている
	コミュニケーション基盤	メールやチャットなど最低限のコミュニケーションツールが使える	最低3部門でメールやチャットなど最低限のコミュニケーションツールが使える	コミュニケーションツールが組織的に管理されている	コミュニケーションツールが継続的に改善されている
アプリケーション基盤	マイクログリッドサービス	マイクログリッドサービスを開発し活用した経験がある	最低1つのシステムがマイクログリッドサービス化している	すべてのシステムがマイクログリッドサービス化されている	マイクログリッドサービスが組織的に管理されている
	アプリケーション連携基盤	APIカタログを作成した経験がある	最低1つのマイクログリッドサービスのAPIがカタログ化されている	すべてのシステムがマイクログリッドサービスのAPIがカタログ化されている	マイクログリッドサービスのAPIカタログが組織的に管理されている
データ管理基盤	データ管理基盤	トランザクションデータを管理するデータ管理基盤がある	マスターデータ、分析データ、非構造化データを管理するデータ管理基盤がある	マスターデータ、分析データ、非構造化データを管理するデータ管理基盤が組織的に管理されている	マスターデータ、分析データ、非構造化データを管理するデータ管理基盤が継続的に改善されている
	BI/PM基盤	生成AI	生成AIを使ったことがある	生成AIが組織的に管理されている	生成AIが継続的に改善されている
マネジメント基盤					
ビジネスプロセスマネジメント	BI/PMを実施した経験がある	BI/PMを最低2回繰り返す	BI/PMプロセスを標準化する	BI/PMプロセスを組織的に管理されている	BI/PMプロセスを継続的に改善する
	データマネジメント	データマネジメントを最低2回繰り返す	データマネジメントプロセスを標準化する	データマネジメントプロセスを組織的に管理されている	データマネジメントプロセスを継続的に改善する
	アプリケーションマネジメント	アプリケーションマネジメントを実施した経験がある	アプリケーションマネジメントプロセスを標準化する	アプリケーションマネジメントプロセスを組織的に管理されている	アプリケーションマネジメントプロセスを継続的に改善する
	ITマネジメント	ITマネジメントを実施した経験がある	ITマネジメントを最低2回繰り返す	ITマネジメントプロセスを標準化する	ITマネジメントプロセスを継続的に改善する
データドリブン経営		データドリブン経営を実施した経験がある	データドリブン経営を最低2回繰り返したことがある	組織的に管理されたマネジメント基盤によって全社員がデータドリブン経営を実施している	データドリブン経営によって企業が組織的に成長している
産業アプリケーション		メーコート開発ツールを使ってフロントエンドアプリを開発した経験がある	メーコート開発ツールを使って最低2回フロントエンドアプリを開発している	アプリケーションマネジメントプロセスによって全社員が産業アプリを開発することができる	全社員が産業アプリケーションを継続的に改善できる

DXの具体的なアプローチ

- DX成熟度レベルを定義する
- DXプロセス×領域ごとのDX成熟度レベルで具体的なアクションプランを立案する

DXのアクションプラン

領域	フェーズ									
	論理基盤の設計					物理基盤の構築	マネジメント基盤の構築	データドリブン経営の実現	変革アプリを活用した事業創出・変革	
	時期									
エンタープライズアーキテクチャ										
	ビジネスアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	データアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	アプリケーションアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	テクノロジーアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
企業情報基盤										
	IT基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	コミュニケーション基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	アプリケーション基盤									
	マイクロサービス	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	アプリケーション連携基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	データ管理基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	BPM基盤									
	生成AI	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
マネジメント基盤										
	ビジネスプロセスマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	データマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	アプリケーションマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	ITマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
データドリブン経営		レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
変革アプリケーション		レベル1	レベル2				レベル3	レベル4	レベル5	

DXのアプローチ

- トップダウン
- アジャイル
- スモールスタート

DXのアプローチ

- トップダウン
- アジャイル
- スモールスタート

トップダウン

- **全体から部分へ**
部分最適を防ぎ**全体最適を担保**することができます。
- **概念レベル（変化しにくい本質）から物理レベル（変化しやすい現象）へ**
事業の本質を一貫して担保することができます。
また、抽象的な粗いレベルから具体的な細かいレベルに移行するので、**見通しよく進める**ことができます。

トップダウン

- **全体から部分へ**
部分最適を防ぎ**全体最適を担保**することができます。
- **概念レベル（変化しにくい本質）から物理レベル（変化しやすい現象）へ**
事業の本質を一貫して担保することができます。
また、抽象的な粗いレベルから具体的な細かいレベルに移行するので、**見通しよく進める**ことができます。

広く粗く→狭く細かく

DXのアクションプラン

領域	フェーズ									
	論理基盤の設計					物理基盤の構築	マネジメント基盤の構築	データドリブン経営の実現	変革アプリを活用した事業創出・変革	
	時期									
エンタープライズアーキテクチャ										
	ビジネスアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	データアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	アプリケーションアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
	テクノロジーアーキテクチャ	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
企業情報基盤										
	IT基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	コミュニケーション基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	アプリケーション基盤									
	マイクロサービス	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	アプリケーション連携基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	データ管理基盤	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
	BPM基盤									
	生成AI	レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	レベル5			
マネジメント基盤										
	ビジネスプロセスマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	データマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	アプリケーションマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
	ITマネジメント	レベル1	レベル2			レベル3	レベル4	レベル5		
データドリブン経営		レベル1	レベル2				レベル3	レベル4	レベル5	
変革アプリケーション		レベル1	レベル2					レベル3	レベル4	レベル5

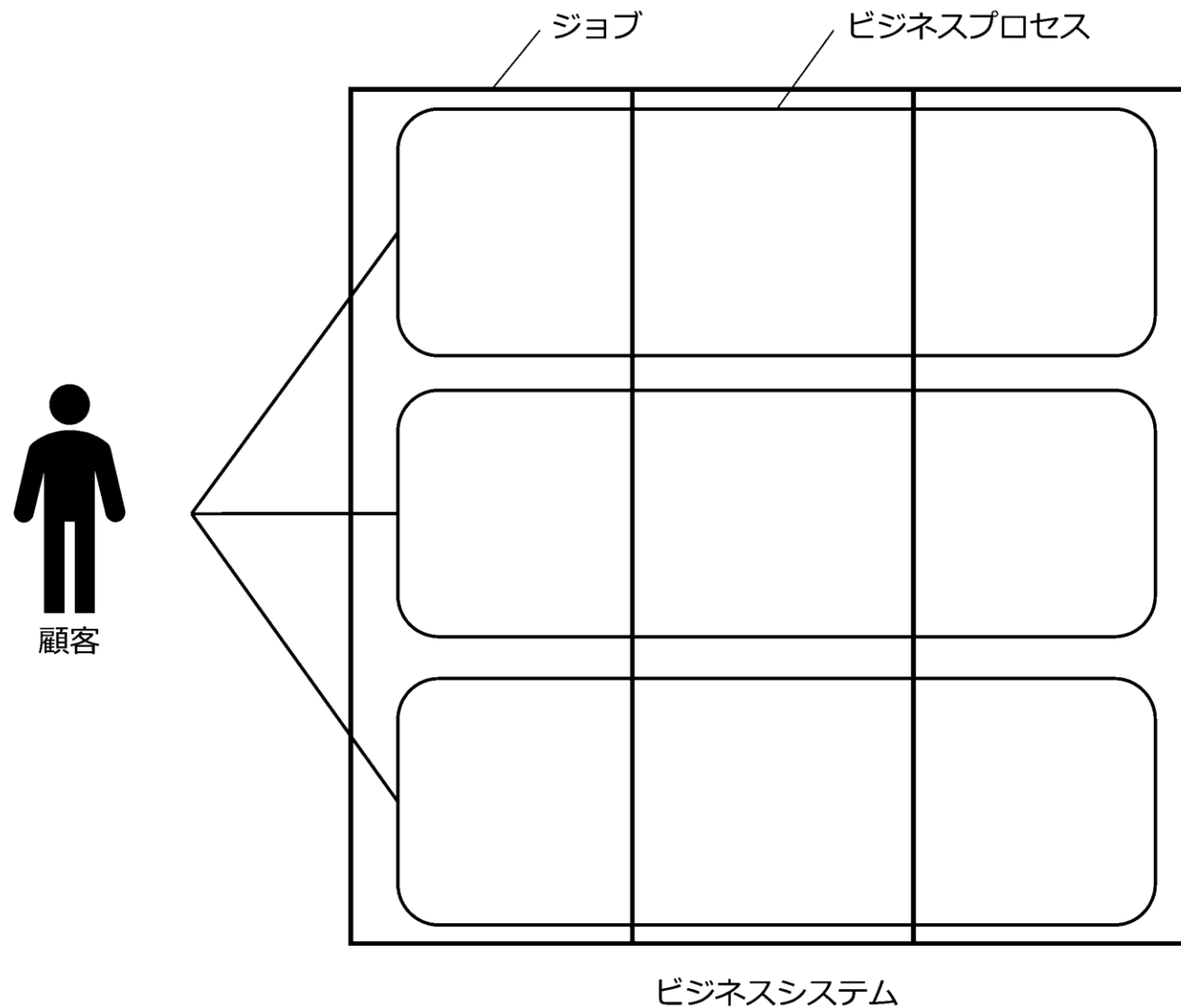
DXのアプローチ

- トップダウン
- アジャイル
- スモールスタート

アジャイル

- 業務のビジネスプロセスやシステムのユースケースなど価値を生む単位に分けてマネジメントサイクル（PDCA）を繰り返しながら進めて行くので、環境や要求の変化に機敏に対応することができ、よりプロジェクトの**リスクを下げる**ことができます。
- また、アジャイルアプローチは、反復（イテラティブ）と漸増（インクリメンタル）を繰り返し段階的に目に見える成果があるので**メンバーのモチベーションを維持**することができます。

アジャイルアプローチ



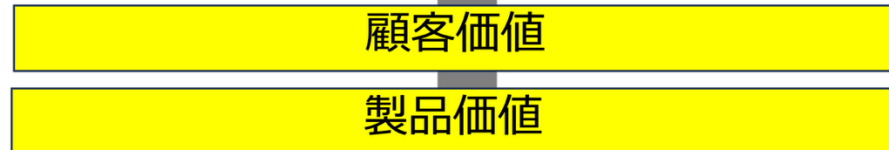
アジャイルアプローチ

戦略マップ

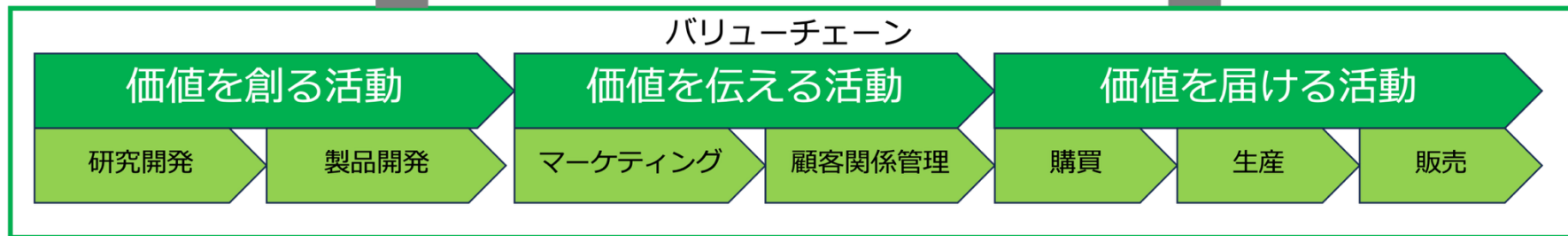
財務の視点



顧客の視点



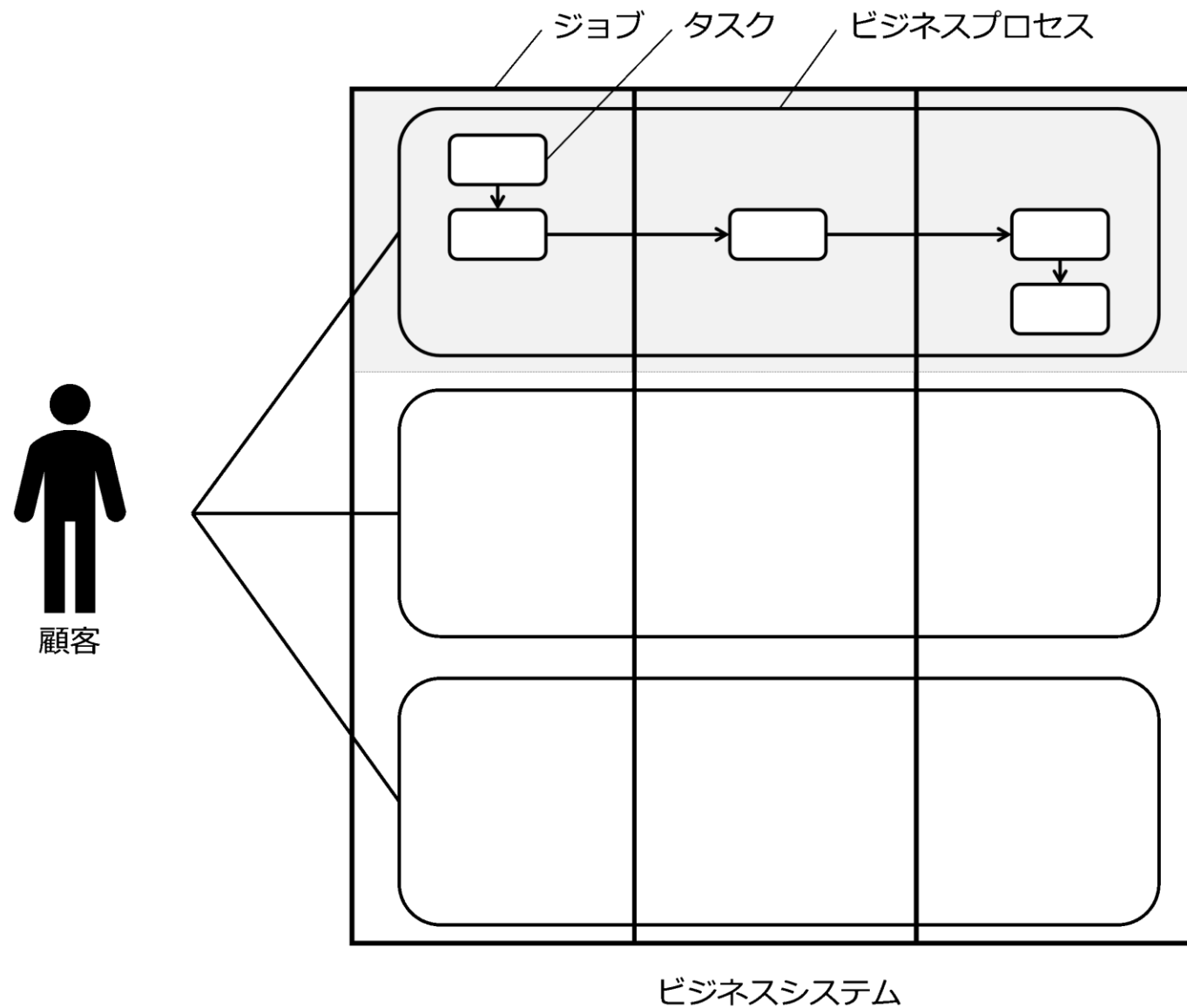
内部プロセスの視点



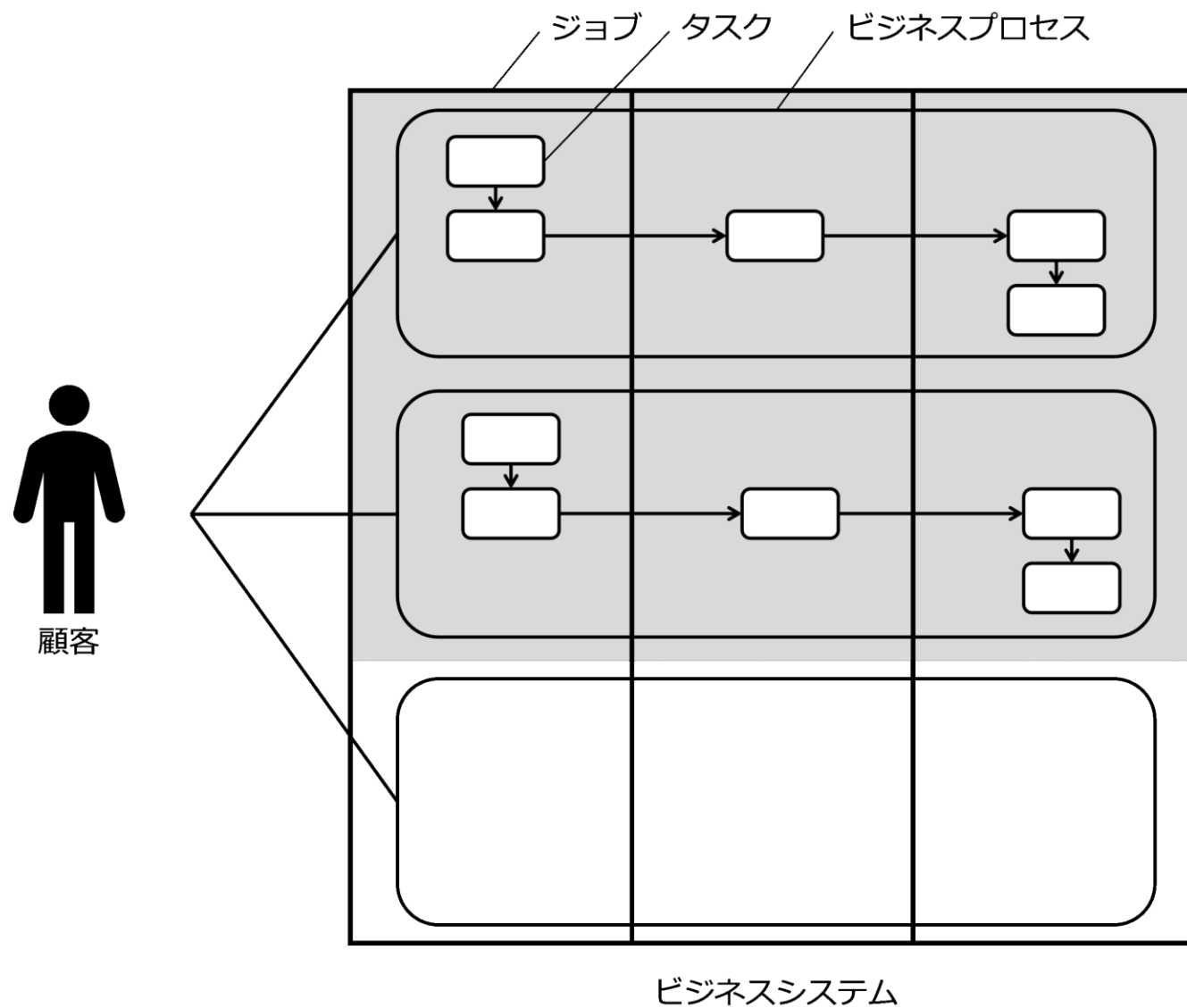
学習と成長の視点



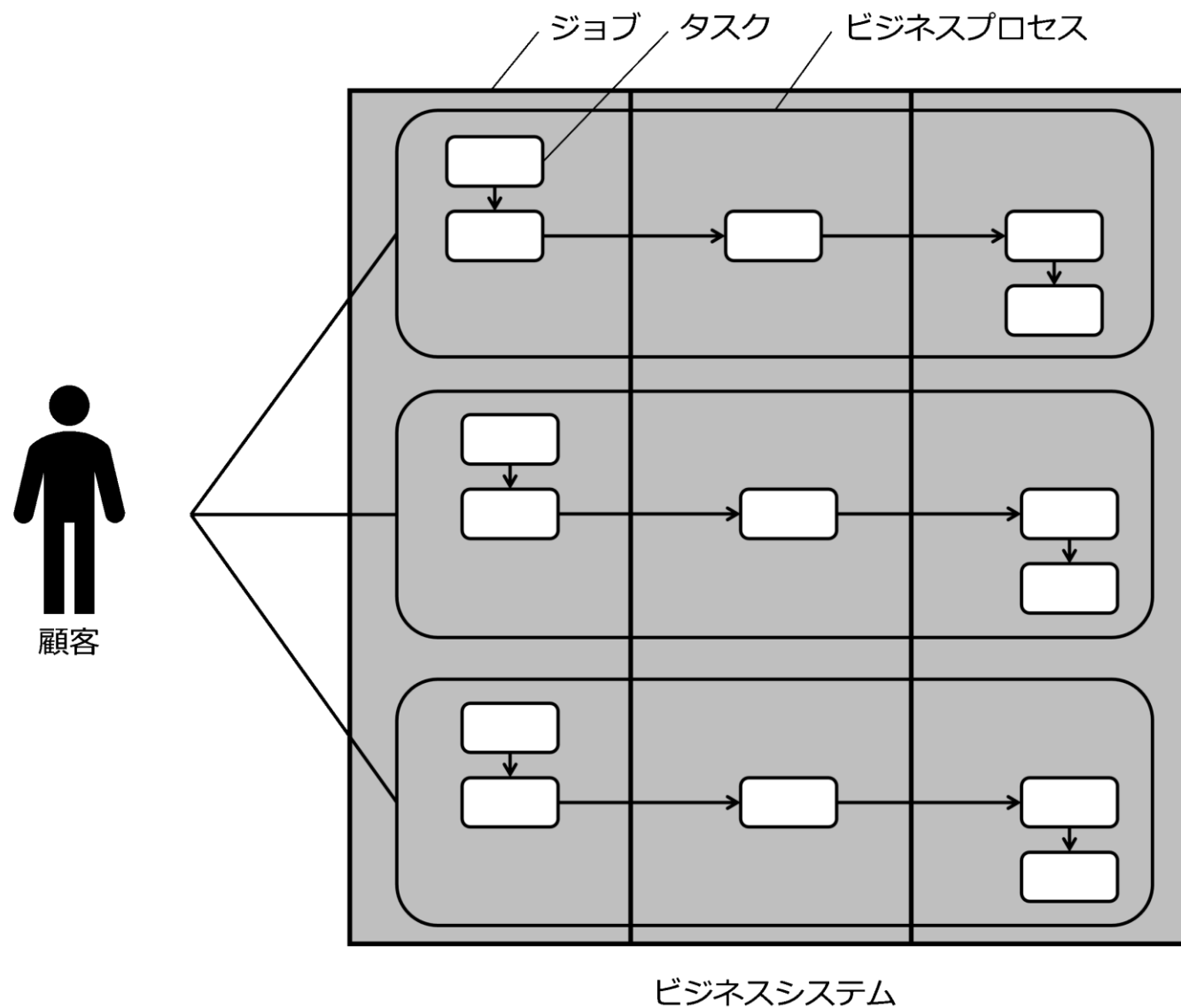
アジャイルアプローチ



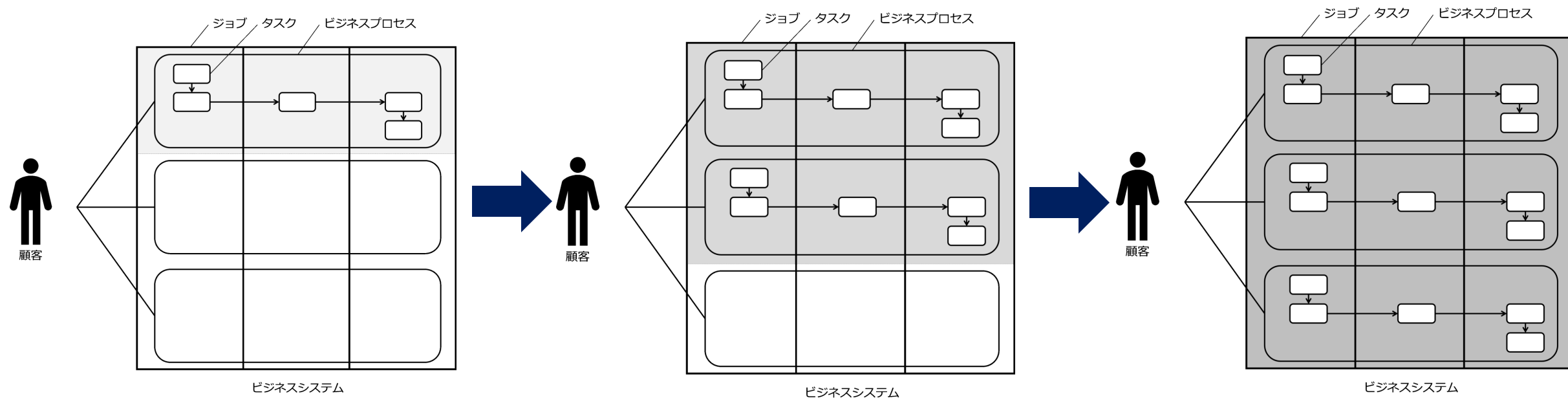
アジャイルアプローチ



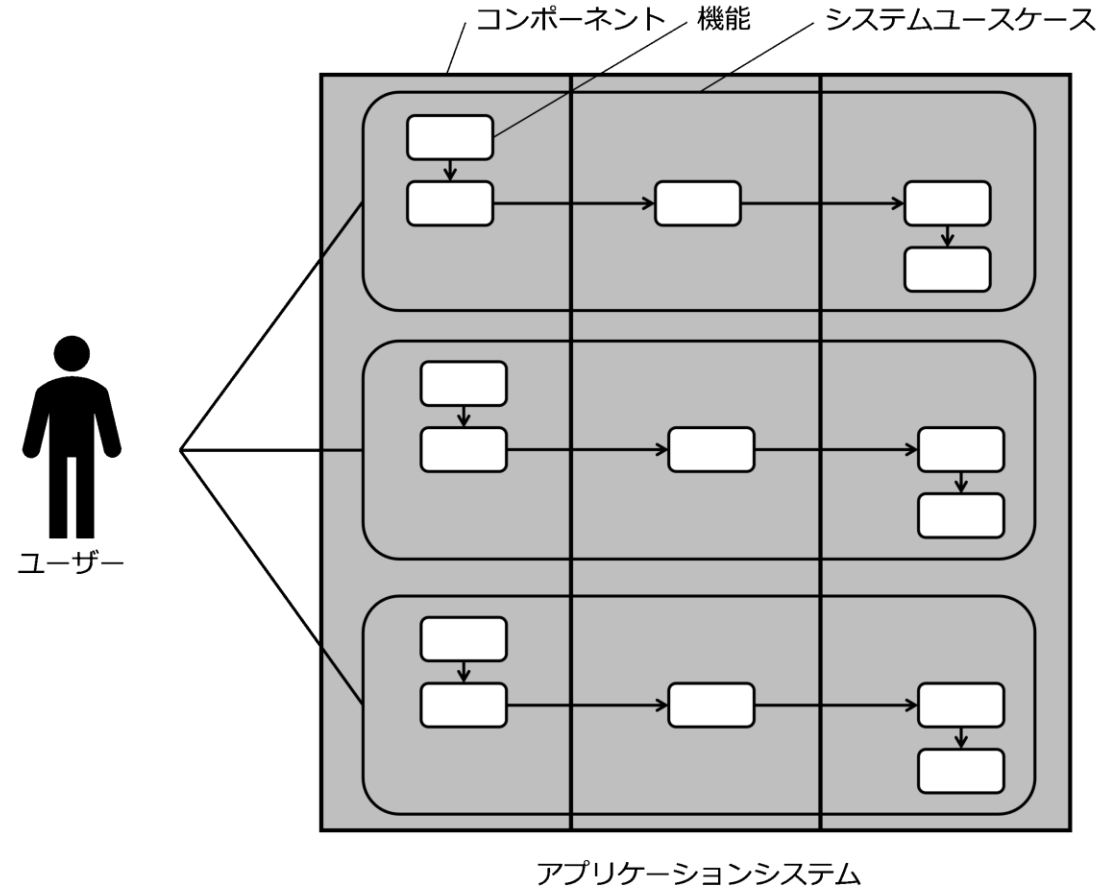
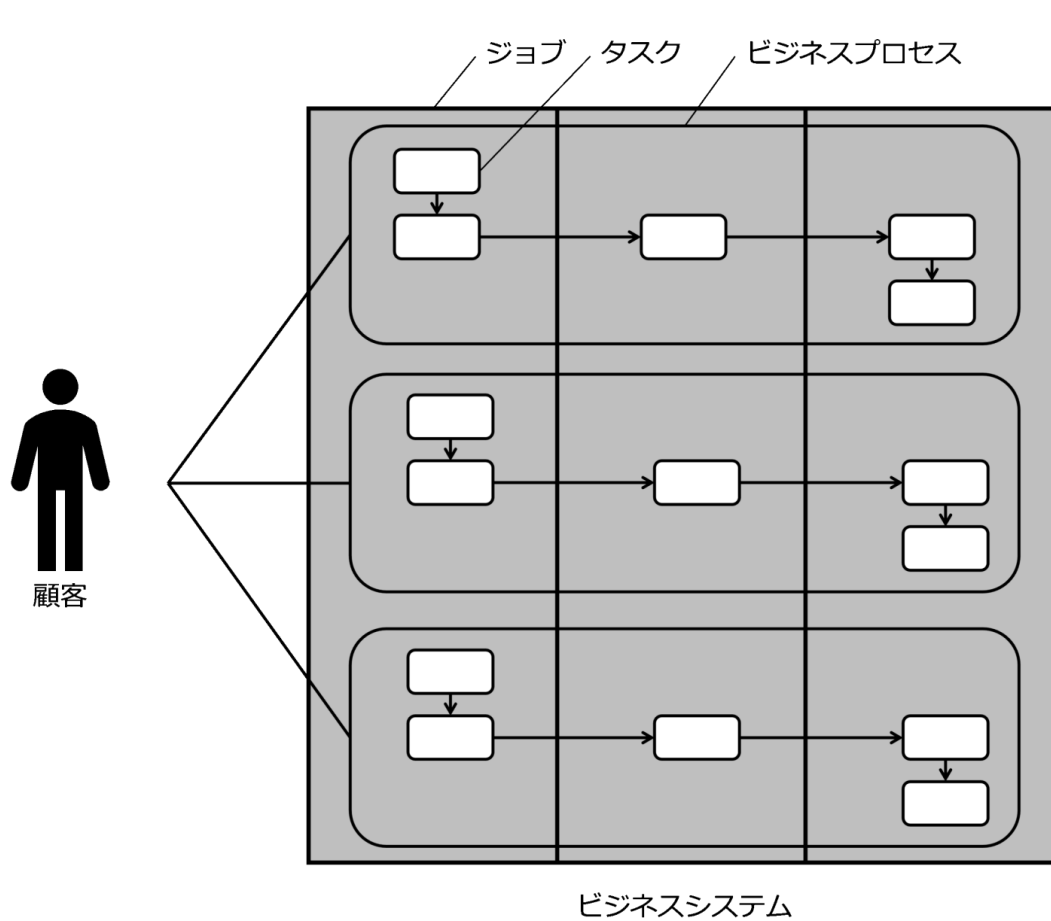
アジャイルアプローチ



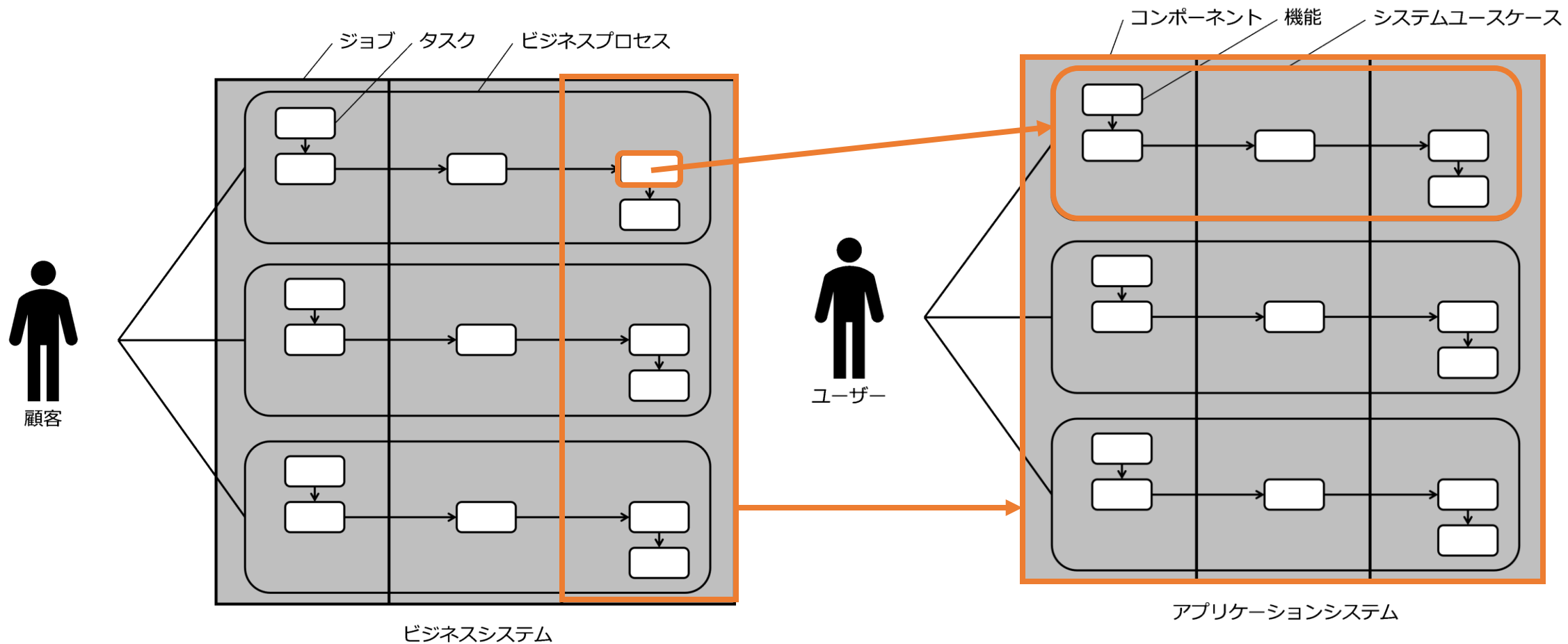
アジャイルアプローチ



ビジネスシステムとアプリケーションシステム



ビジネスシステムとアプリケーションシステム



DXのアプローチ

- トップダウン
- アジャイル
- スモールスタート

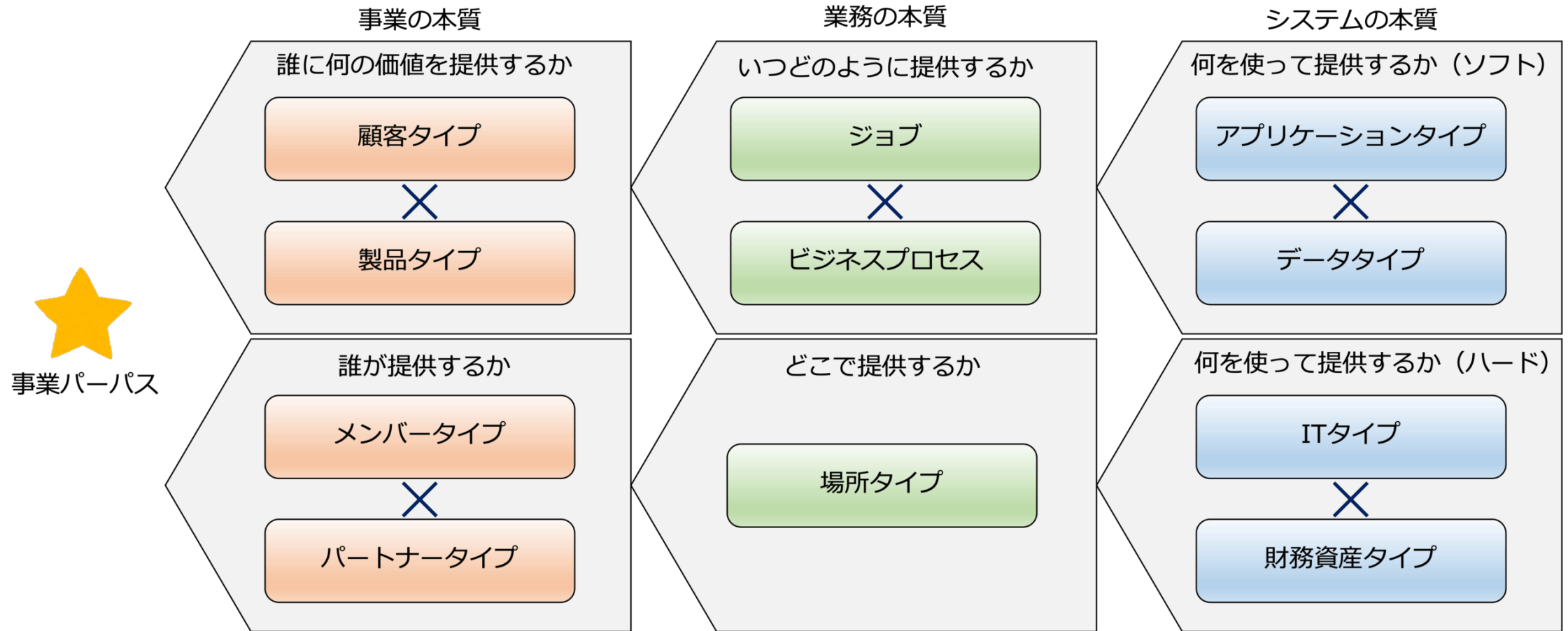
スモールスタート

スモールスタートは、DX成熟度レベル1「まずやってみる」から始めるというアプローチです。
低い成熟度レベルから段階的にレベルを上げていくので**無理なく進める**ことができます。

成熟度レベル1のアクションプラン

[illegible]

ビジネスモデルの全体像



成熟度レベル1のアクションプラン

[illegible]

ビジネスプロセス一覧

事業	活動種類	活動領域	ビジネスプロセス	バリューチェーン
産業機械製造販売	主要活動	営業活動	販売	オペレーションプロセス（価値を届ける活動）
			販売計画の策定	
			販売計画の検証	
			販売計画の改善	
			販売活動の改革・改善	
			製品の販売	
			製品の返品	
			生産	
			生産計画の策定	
			生産計画の検証	
			生産計画の改善	
			生産活動の改革・改善	
			製品の製造	
			サービス	
			保守サービス計画の策定	
			保守サービス計画の検証	
			保守サービス計画の改善	
			保守サービス活動の改革・改善	
			部品の販売	
			保守サービスの実施	
			市場品質の監視と分析	
			購買	
			購買計画の策定	
			購買計画の検証	
			購買計画の改善	
			購買活動の改革・改善	
			部品購買契約の締結	
			部品購買契約の更新	
			部品購買契約の解除	
			部品の購買	
			部品の返品	
			出荷	
			製品の出荷	
			部品の出荷	
			出荷活動の改革・改善	
			在庫管理	
			製品の棚卸	
			部品の棚卸	
			在庫管理活動の改革・改善	
			入荷	
			部品の入荷	
			入荷活動の改革・改善	
			請求	
			製品代金の請求	
			請求活動の改革・改善	
			支払	
			部品代金の支払	
			支払活動の改革・改善	
		顧客管理	マーケティング計画の策定	コミュニケーションプロセス（価値を伝える活動）
			マーケティング計画の検証	
			マーケティング計画の改善	
			顧客管理活動の改革・改善	
			顧客の獲得	
			顧客の活性化	
			顧客の維持	
		製品管理	顧客の処分	
			製品開発計画の策定	イノベーションプロセス（価値を創る活動）
			製品開発計画の検証	
			製品開発計画の改善	
			製品管理活動の改革・改善	
			製品の開発	
			製品の改良	
			製品の改修	
			製品の廃止	
			開発技術の共有	

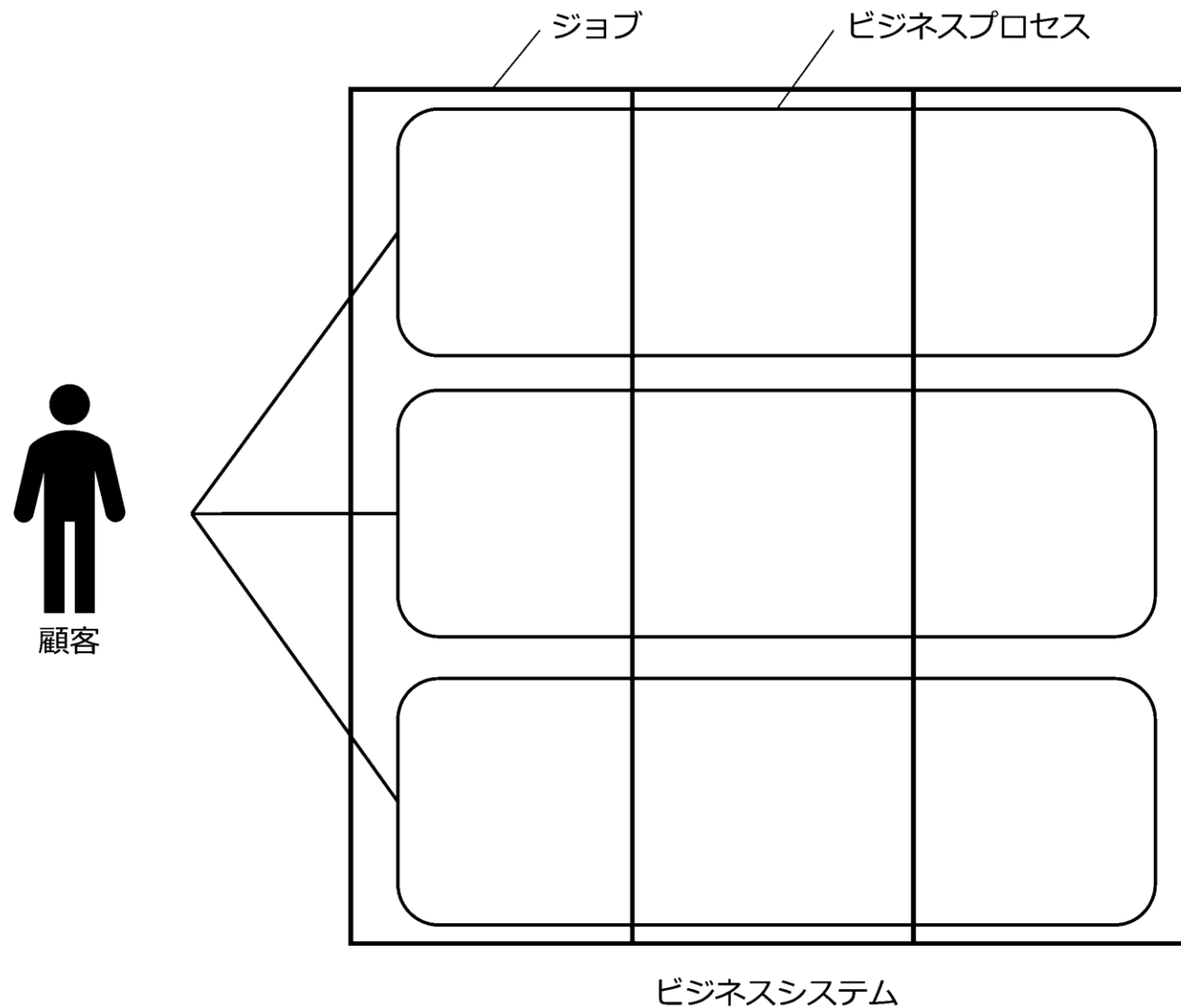
ジョブ一覧

事業	活動種類	活動領域	ジョブ	概要
産業機械製造販売	主要活動	営業活動	販売	需要を予測と販売計画を策定し、それに基づいて販売活動（見積や受注含む）を実施、検証、改善する職務。
			生産	需要予測の結果と生産能力を考慮して生産計画を策定し、それを管理する職務。製造と生産管理の職務を分掌し生産管理の専門性を強化する。
			品質管理者	製品や部品の品質を管理する職務。製造と品質管理の職務を分掌し品質管理の専門性を強化する。
			製造担当者	製品の製造を実施する職務。
		サービス	保守サービス管理者	保守サービス会社が実施する保守サービスを管理する職務。
		購買	購買管理者	生産計画を考慮して購買計画を策定し、仕入先にフォーキャストするとともに、購買計画に基づいて購買活動（見積や発注含む）を実施、検証、改善する職務。
		出荷	出荷管理者	販売管理者が受注した製品を出荷する職務。販売管理者が受注した製品に対する出荷を行うことで、販売した製品のみが適切に出荷されているか検証する機能が働く。
		在庫管理	在庫管理者	製品や部品（棚卸資産）の在庫を管理する職務。
		入荷	入荷管理者	購買管理者が発注した部品を入荷する職務。購買管理者が発注した部品の検収をすることで、購買取引の実在性を上げる。
		請求	請求管理者	販売管理者が受注した製品に対する代金の請求（先掛金の管理含む）を実施する職務。販売管理と請求管理の職務を分掌することで、販売した製品のみが適正な金額で請求されているか検証する機能が働き、販売取引の実在性（不正防止）や売掛金の残高の実在性（誤謬防止）を上げる。
		支払	支払管理者	購買管理者が発注した部品に対する代金の支払（買掛金の管理含む）を実施する職務。購買管理と支払管理の職務を分掌することで、購入した部品のみが適正な金額で支払われているか検証する機能が働き、販売取引の実在性（不正防止）や買掛金残高の実在性（誤謬防止）を上げる。
		顧客管理	顧客管理者	カスタマーサービスが探索した顧客ニーズを顧客価値に変換する職務。
				製品開発者が開発した製品の製品価値を販売管理者に展開する職務。
				顧客からの問合せから顧客にニーズを探索する職務。
		製品管理	製品管理者	顧客価値を満たす製品価値を企画する職務。
				製品価値から具体的な製品を開発し、そのライフサイクルを管理する職務。
事業共通	事業支援活動	社員管理	社員管理者	人事制度の設計と運用、および、人事戦略を立案し、それを実行、検証、改善する職務。
		パートナー管理	保守サービス会社管理者	保守サービス会社との関係を管理する職務。
			仕入先管理者	購買契約の締結を含め仕入先との関係を管理する職務。
		設備管理	設備管理者	設備のライフサイクルを管理する職務。
	企業支援活動	情報管理	情報管理者	情報資産のライフサイクルを管理する職務。
		財務活動	財務管理者	資本の調達と利益の還元に関わる職務。
		経営活動	会計管理者	仕訳や決算など会計全般を行う職務。
			経営管理者	経営全般管理を実施する職務。

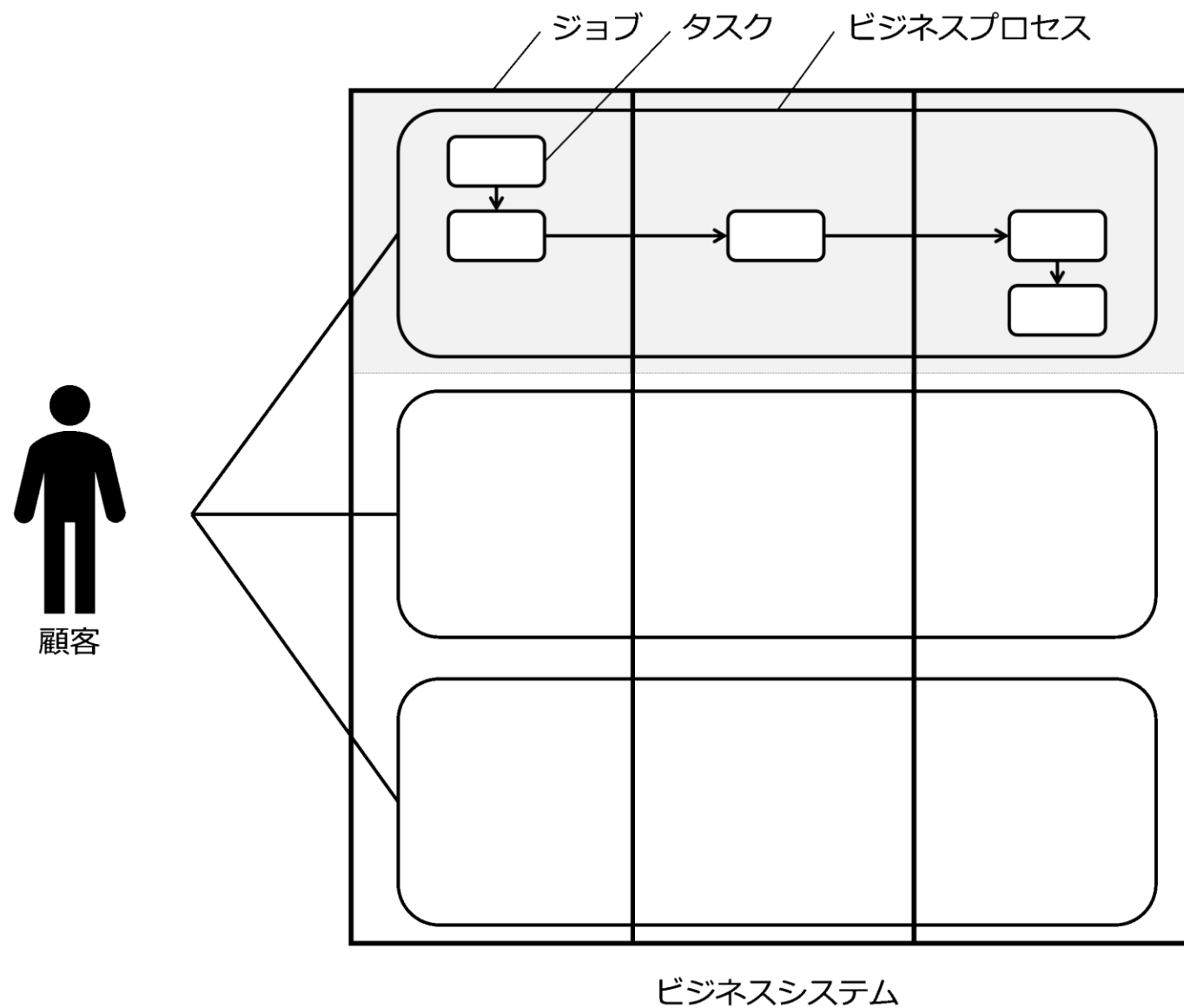
アプリケーション一覧

トランザクション処理 アプリケーション	概要	現行システム	将来システム	管理データ	
				マスターデータ	トランザクションデータ
販売管理システム	見積データ、受注データのライフサイクルを管理する。販売品目データの主管システム。	SCMシステム	販売管理サービス	販売品目	販売計画、販売予測、販売見積、受注
生産管理システム	製造指示データ、製造データ、作業データのライフサイクルを管理する。製造品目マスターの主管システム。	SCMシステム	生産管理サービス	製造品目	生産計画、製造指示、製造
品質管理システム	製品や部品の品質検査データを管理する。	PLMシステム	品質管理サービス		製品品質検査、部品品質検査、出荷品質検査
保守サービス管理システム	サービス実績データのライフサイクルを管理する。サービス品目マスターの主管システム。	PLMシステム	保守サービス管理サービス	サービス品目	サービス計画、保守サービス
納入機管理システム	製品個体（納入機や納入機部品）データのライフサイクルを管理する。	PLMシステム	納入機管理サービス	納入機、納入機部品	
購買管理システム	見積データ、発注データのライフサイクルを管理する。購買品目データの主管システム。	SCMシステム	購買管理サービス	購買品目	購買計画、購買見積、発注
出荷管理システム	販売された製品の出荷データのライフサイクルを管理する。	SCMシステム	出荷管理サービス		出荷
在庫管理システム	品目別の在庫データと、それに対するエントリーである入庫、出庫データのライフサイクルを管理する。商品有高帳や材料元帳の位置づけ。	SCMシステム	在庫管理サービス		在庫、入庫、出庫、引当
入荷管理システム	購入された部品の入荷データのライフサイクル（検収含む）を管理する。	SCMシステム	入荷管理サービス		入荷
請求管理システム	顧客別の売掛金データと、それに対するエントリーである請求データのライフサイクルを管理する。得意先元帳の位置づけ。	ERPシステム	請求管理サービス		売掛金、請求
支払管理システム	仕入先別の買掛金データと、それに対するエントリーである支払データのライフサイクルを管理する。仕入先元帳の位置づけ。	ERPシステム	支払管理サービス		買掛金、支払
顧客管理システム	顧客データ、および、顧客関係管理データを管理する。顧客マスターの主管システム。	CRMシステム	顧客管理サービス	顧客	マーケティング計画、プロモーション、問合せ
製品管理システム	製品データ、および、製品ライフサイクルデータを管理する。設計品目マスターの主管システム。	PLMシステム	製品管理サービス	設計品目	製品開発計画、設計
社員管理システム	社員データ、および、社員関係管理データを管理する。社員マスターの主管システム。	ERPシステム	社員管理サービス	社員、職務、部門	異動
給与管理システム	社員の給与を管理する。	ERPシステム	ERPシステム		給与
取引先管理システム	取引先（仕入先や保守サービス会社）データ、および、取引先関係管理データを管理する。取引先マスターの主管システム。	SCMシステム	取引先管理サービス	取引先	購買契約
設備管理システム	設備データと、そのエントリーである工事データのライフサイクルを管理する。固定資産台帳の位置づけ。	SCMシステム	設備管理サービス	設備	工事
情報管理システム	情報システム、および、情報システム管理データを管理する。情報システム台帳の位置づけ。	ERPシステム	情報管理サービス	情報システム	
財務管理システム	資本の調達や利益の還元に関するデータを管理する。	ERPシステム	ERPシステム		資金、配当
売上管理システム	顧客別売上データを管理する。売上元帳の位置づけ。	ERPシステム	売上管理サービス		売上
仕入管理システム	仕入先別仕入データを管理する。仕入元帳の位置づけ。	ERPシステム	仕入管理サービス		仕入
現金管理システム	現金データを管理する。現金出納帳の位置づけ。	ERPシステム	ERPシステム		現金
会計管理システム	勘定データと、そのエントリの仕訳データを管理する。総勘定元帳の位置づけ。勘定マスターの主管システム。	ERPシステム	ERPシステム		仕訳、勘定
場所管理システム	場所に関するデータを管理する。場所マスターの主管システム。	SCMシステム	場所管理サービス	場所	
経営管理システム	経営全般管理に関するデータを管理する。	ERPシステム	ERPシステム		事業計画

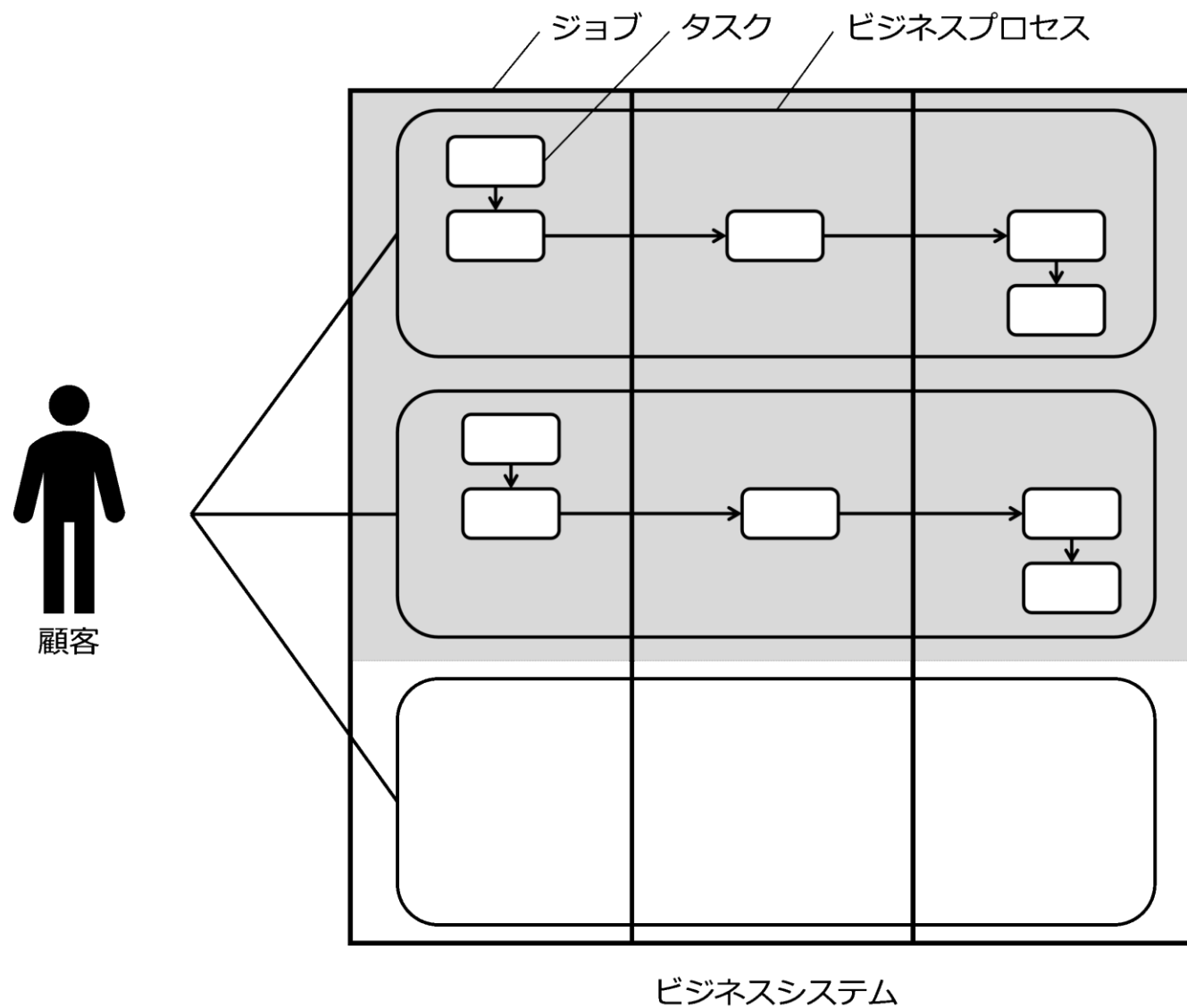
アジャイルアプローチ



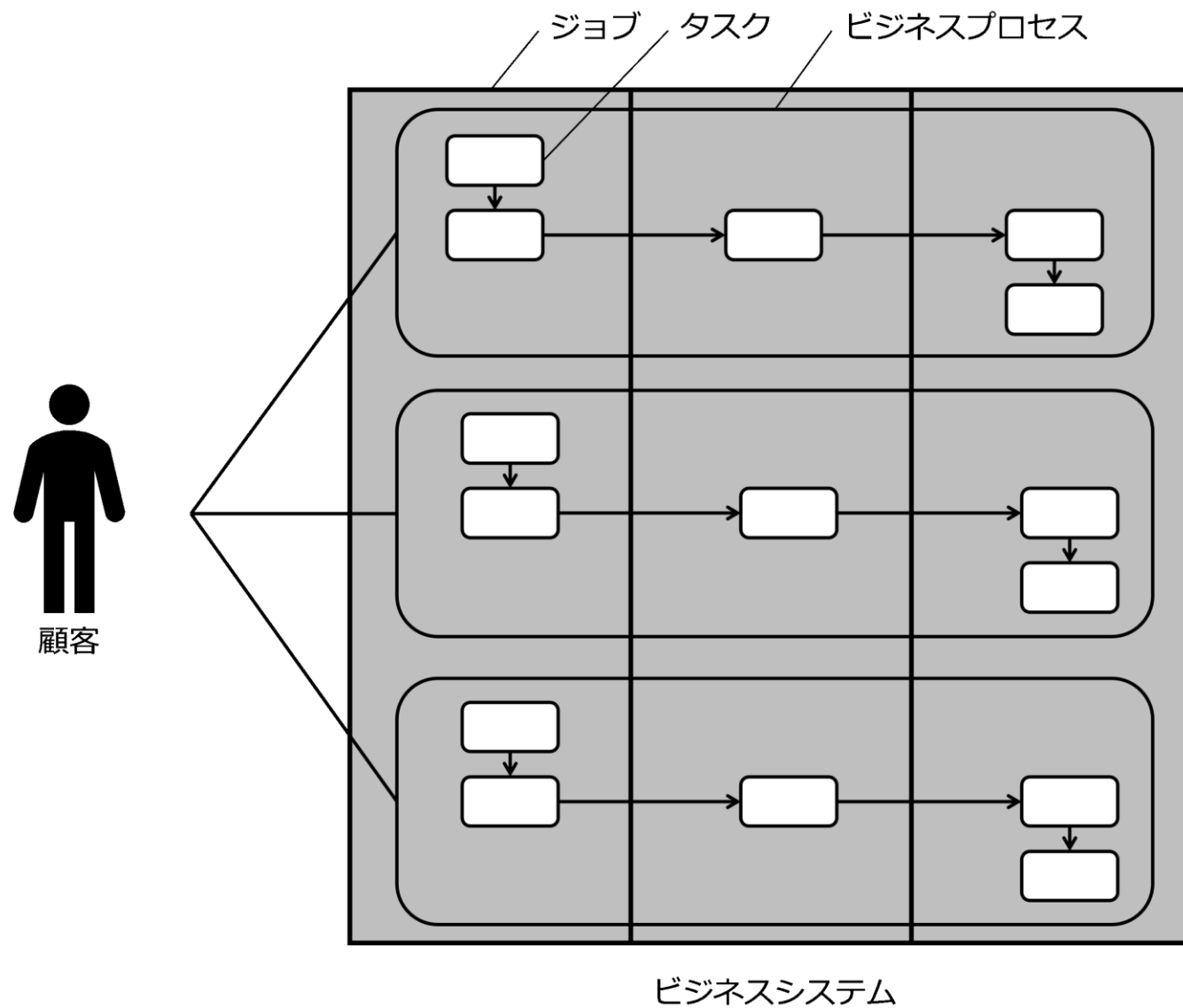
アジャイルアプローチ



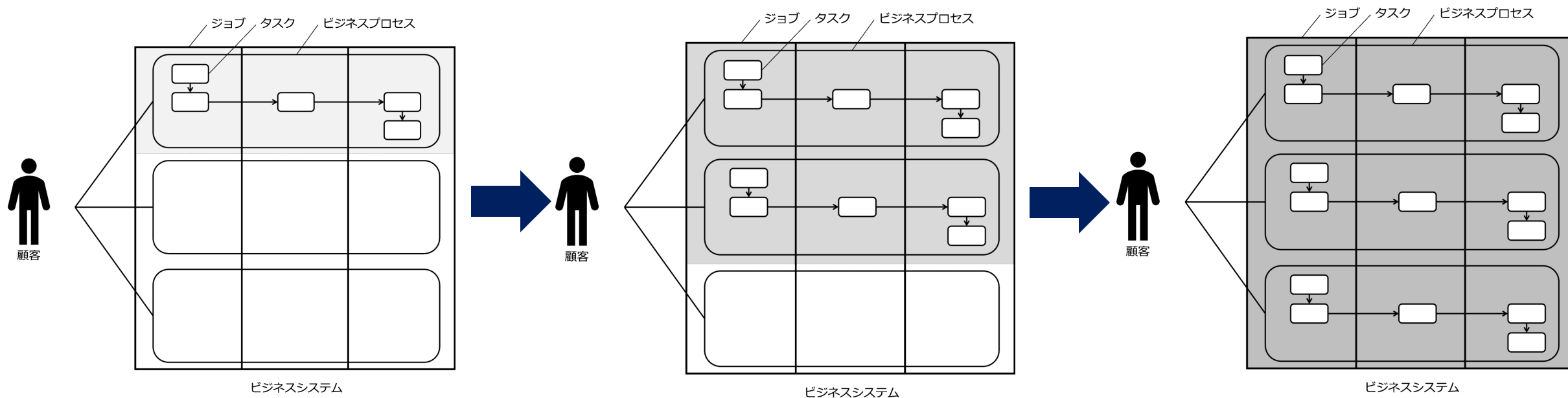
アジャイルアプローチ



アジャイルアプローチ



トップダウンアプローチ



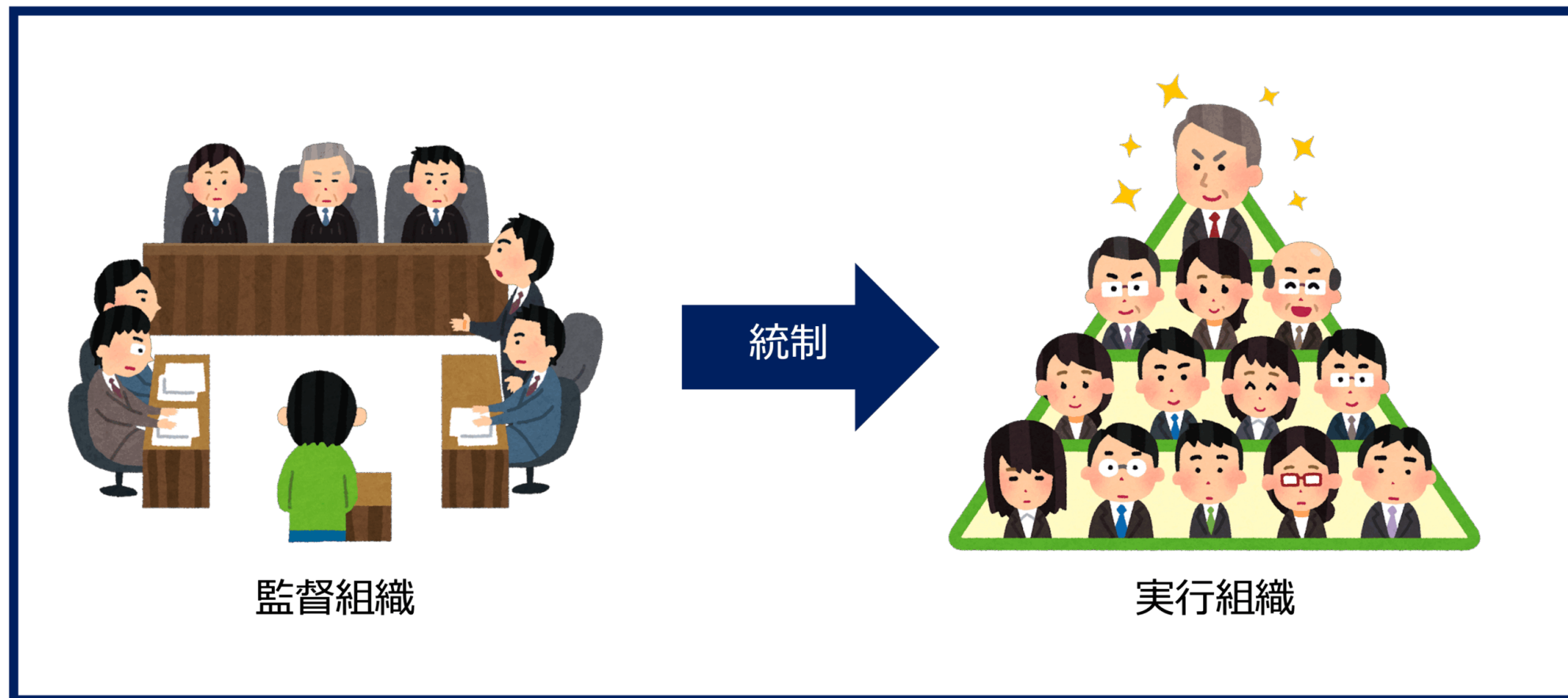
反復的（イテラティブ）で漸進的（インクリメンタル）

DX成熟度レベル

- **レベル 1: 場当たりの的な状態 (Initial)**
まずやってみる
- **レベル 2: 繰り返し可能な状態 (Repeatable)**
最低2回繰り返す
- **レベル 3: 定義された状態 (Defined)**
プロセスとプロダクトを標準化する
- **レベル 4: 管理された状態 (Managed)**
プロセスとプロダクトを管理する
- **レベル 5: 最適化された状態 (Optimized)**
プロセスとプロダクトを継続的に改善する

レベル 4: 管理された状態 (Managed)

ガバナンス



管理されたマネジメントサイクル

Plan

BPM監査計画

Do

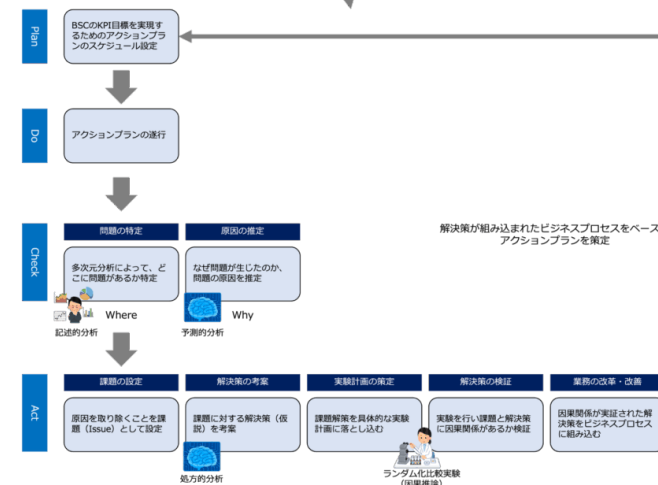
Act

BPMの改善

BPMのガバナンス

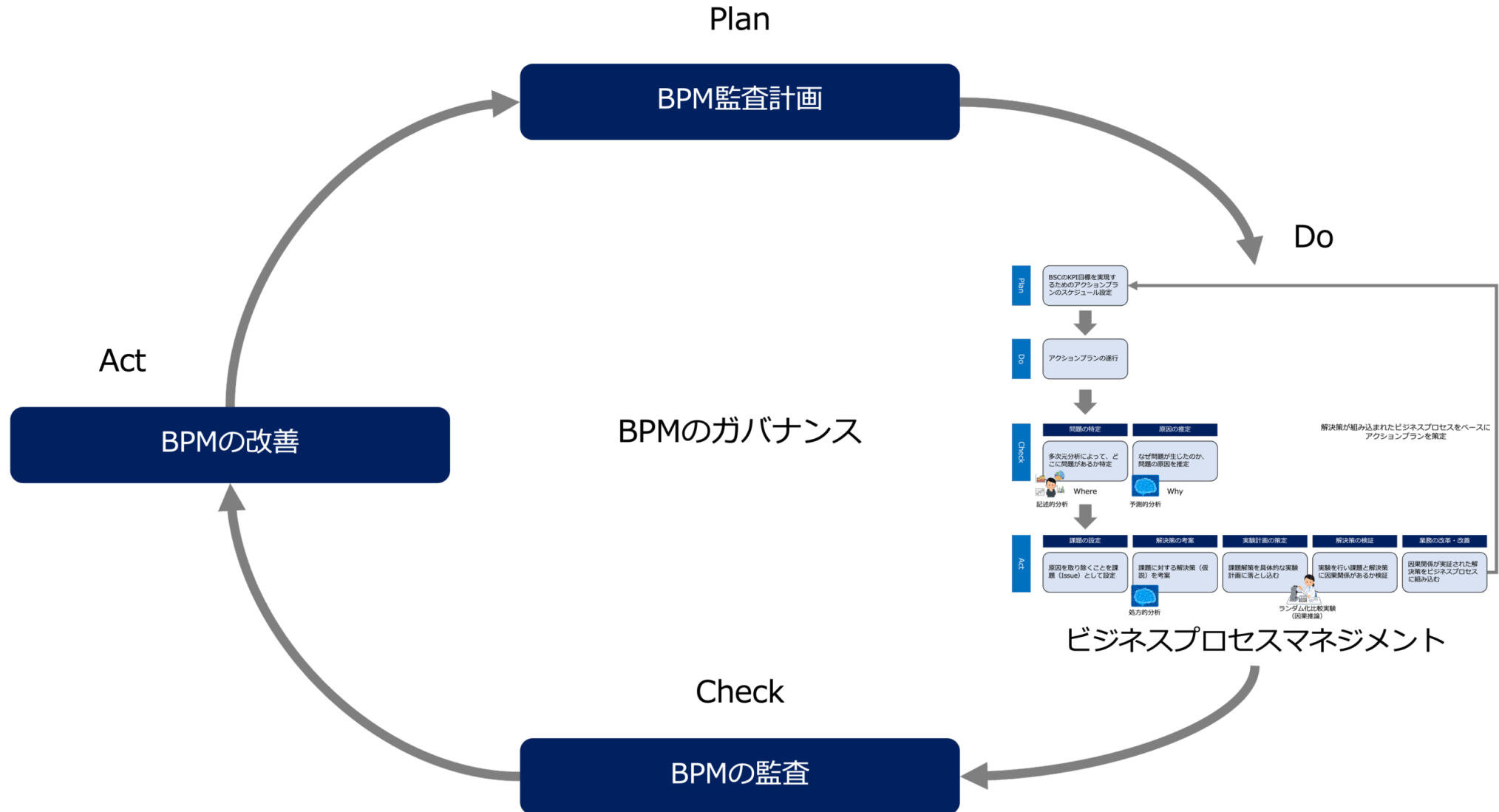
Check

BPMの監査

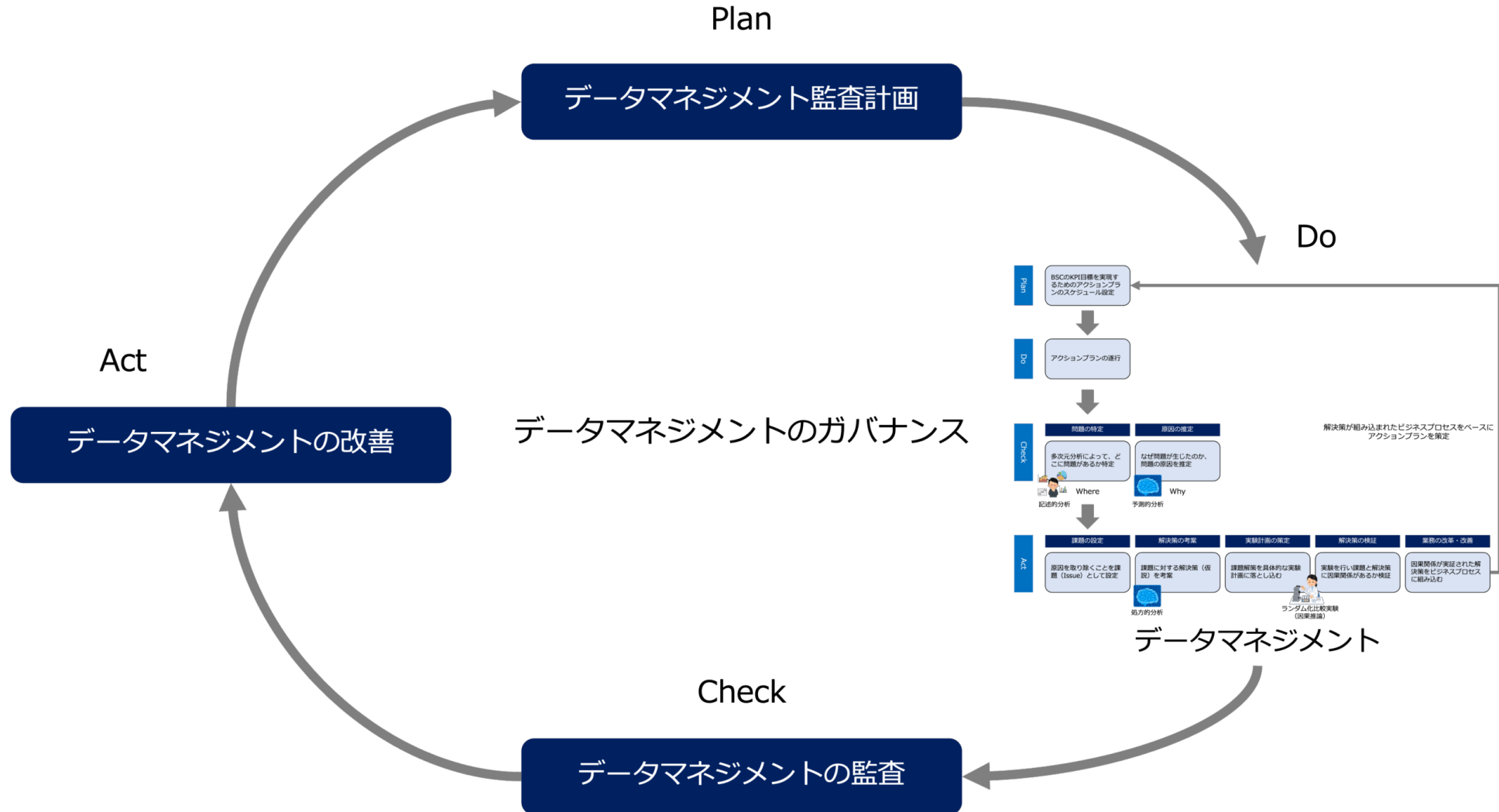


ビジネスプロセスマネジメント

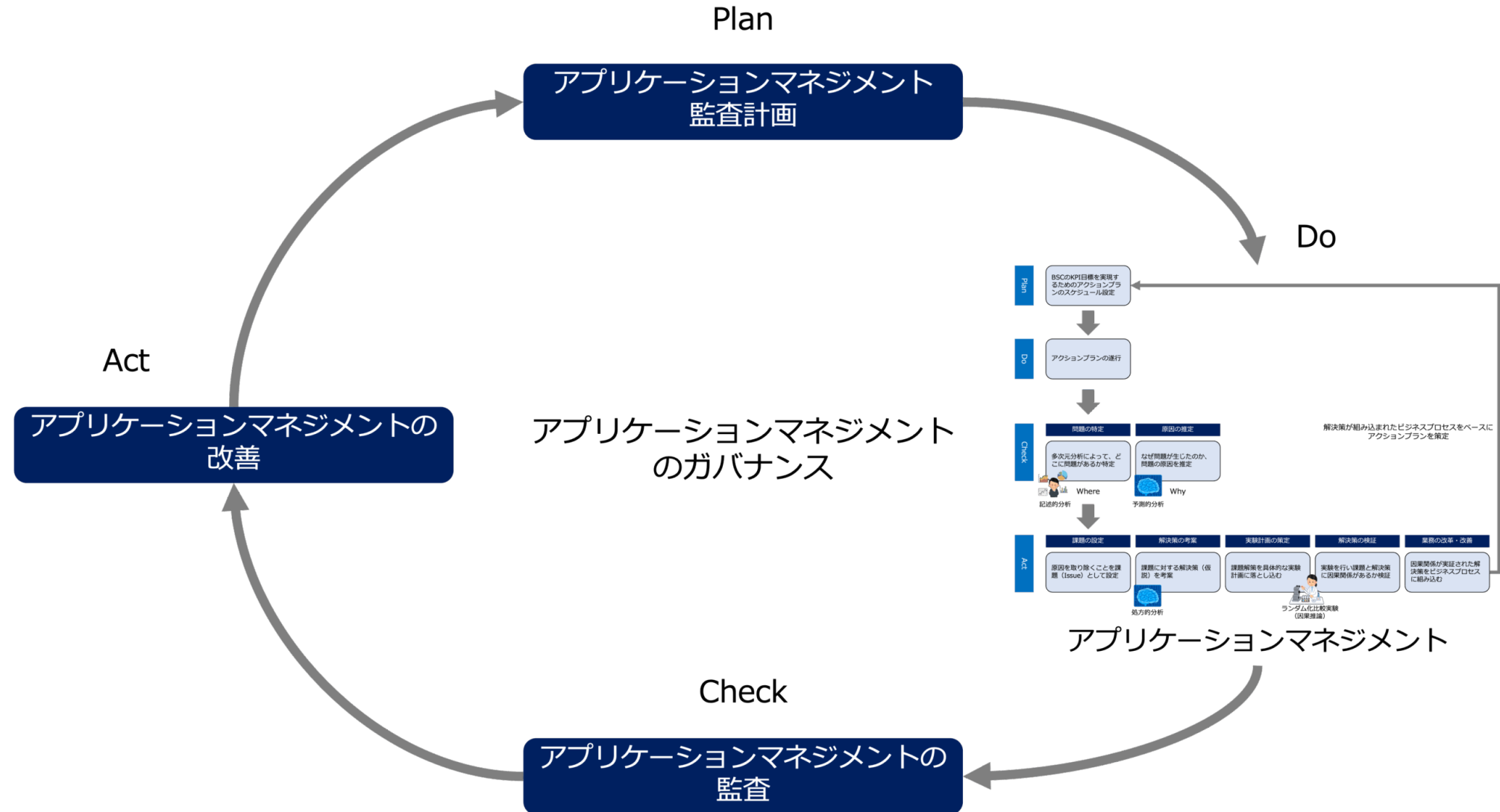
BPMのガバナンス



データマネジメントのガバナンス



アプリケーションマネジメントのガバナンス



ITマネジメントのガバナンス

Plan

ITマネジメント監査計画

Do

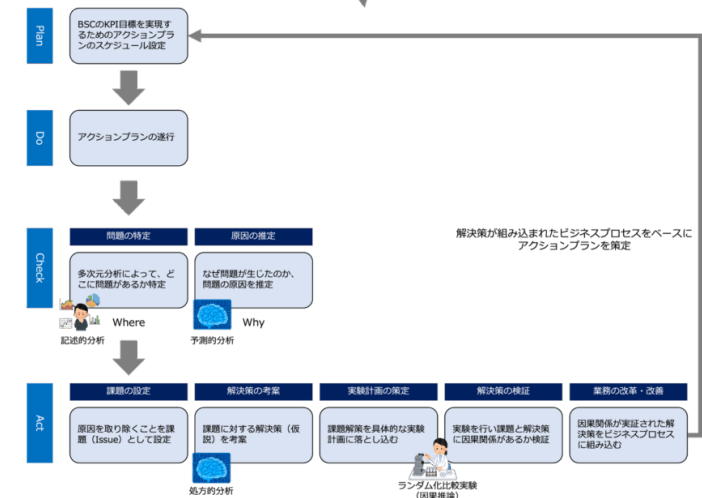
Act

ITマネジメントの改善

ITマネジメントのガバナンス

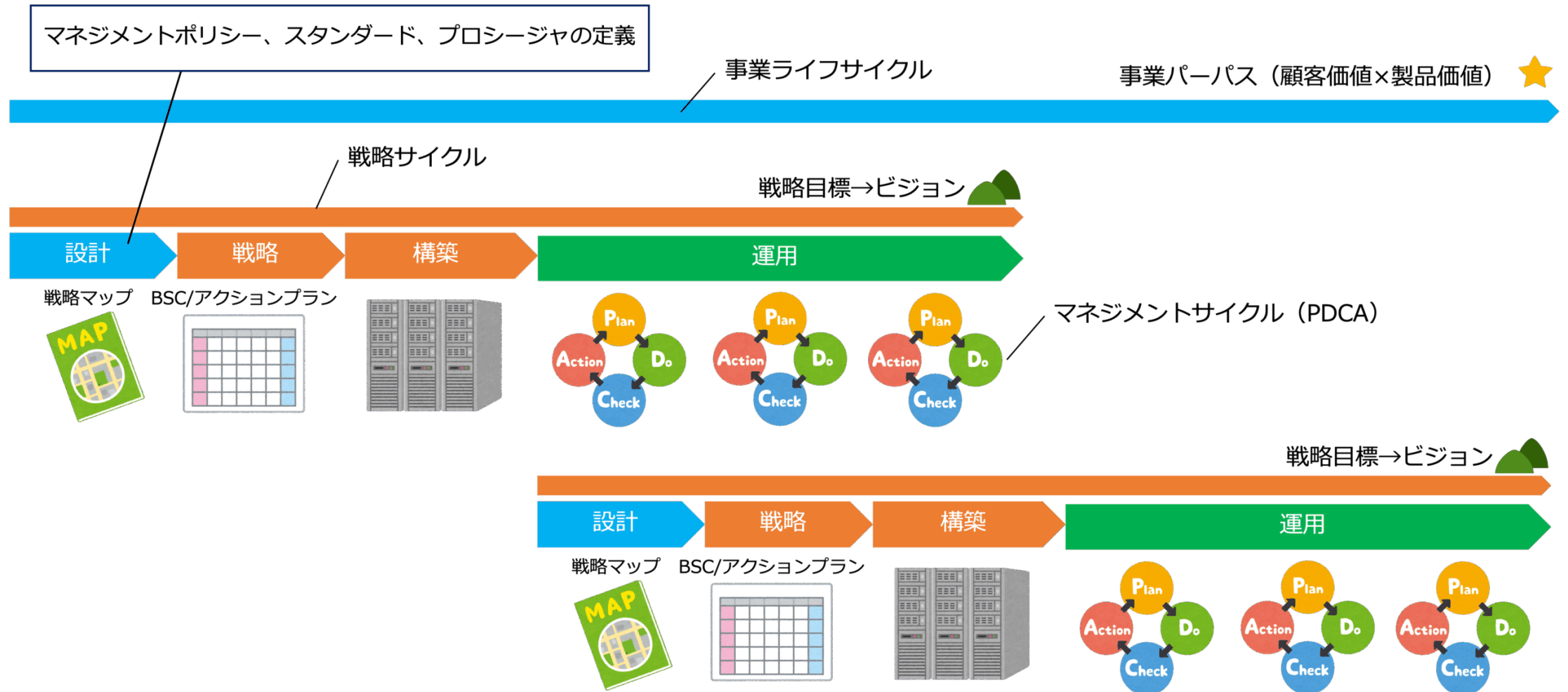
Check

ITマネジメントの監査



ITマネジメント

デザイン思考経営におけるガバナンス



お疲れ様でした！

